

# 幼兒の教育



第十四卷 四月號 第四號

東京女子高等師範學校  
日本幼稚園協會

東京女子高等師範學校附屬幼稚園編

(再版)

# 觀察の實際

菊判 一三〇頁

定價 金壹圓

送 料  
東京 金六錢  
市内 金九錢  
其他 金九錢

○觀察の實際については何か参考したいといふ御希望は皆様から常に伺ふ所、本書はその爲に最も適切親切なる書である。

日本幼稚園協會編

## 幼稚園談話集 (四版)

菊版 三五〇頁 定價 金壹圓五拾錢  
送 料  
地方 北海道・臺灣 金 六 錢  
樺太・朝鮮・滿洲 金 拾 五 錢

東京女子高等師範學校附屬幼稚園編

## 系統的保育案の實際 (四版)

定 價 金 壹 圓  
送 料 金 六 錢

## 幼兒の教育 (月刊)

一ヶ月 金參拾五錢 送料 金一錢  
一ヶ年 金四圓貳拾錢 送料 共

## 第二回保育問題研究發表會豫告

保育問題研究會は、保育の實際に當つてゐる者、保育に關する研究者及び保育問題に強い關心をもつ者等の協力によつて、我國の保育界の向上に、保育研究の進歩を目指してゐる研究會であります。

吾々は、その事業の一部として、一昨年夏に第一回の講習會を開催し、好評を得ましたので、昨年はさらに一步をすすめ、講習會に加ふるに、保育の實際家の研究發表會を致しました。之によつて吾々の得た經驗は、研究發表會の成功に鑑み、これを一層押し進めることが必要であるといふことでした。

その道の權威者の講話を聴くことも勿論必要なことでありますが、實際の經驗によつて得たものを發表して、お互に研鑽することは、それにも増して大切なことゝ信じます。

そこで今年には研究發表會を主とした會を開催することにになりました。未だ詳細な點は確定して居りませんが、左記の要綱を決めましたので、日頃の御經驗を發表していただきたいと思ひます。

期日 七月下旬、三日乃至四日間  
會場 東京市内の適當なる場所  
會費 二圓前後

### 研究發表會

日頃實踐されてゐる事柄、例へば健康保育、躰に關すること

東京市麹町區富士見町

法政大學兒童研究所内

## 保育問題研究會

音樂教育、母の會の運営等々題目は何でも結構ですが、それを簡單に纏めて、大體二十分以内で發表すること。研究發表の際は申込の題目によつて、之を配列し、それぞれ適當な司會者をお願いして、發表後に總括的なお話をしたいと思ひます。

研究發表の申込は七月五日迄に、題目とその要旨（圖表があればその原稿）をお知らせ下さい。

### 研究協議會

今年には國民學校が實施せられましたので之に關聯して、幼稚園保育所にも色々考慮しなければならぬ點があらうと思ひます。それ故「國民學校と就學前教育」といふ題で、色々材料を持ちよつて協議會を致したいと思ひます。

### 講演

題目は未定ですが、保育關係との教養を高める爲めに、適當な講師に講演をお願いいたします。

なほ本會では從來「保育問題研究」といふ會誌を發行しておりましたが、主として經濟的理由により、當分休刊することにいたしました。しかし、それ丈の力を研究實踐に當てることになりましたので、參加、御希望の方は御申越下さい。

倉橋 惣三 著

育ての心 一、五〇〇、一四

東京、神田區駿河臺三丁目六 刀江書院

倉橋 惣三 著

幼稚園保育法真諦 二、八〇〇、一六

東京、神田區神保町一丁目六七 東洋圖書株式會社

倉橋 惣三 著  
新庄よしこ 共著

日本幼稚園史 三、八〇〇、二〇

同上

倉橋 惣三 著

幼稚園雜草 二、五〇〇、一四

東京、日本橋區、大傳馬町 内田老鶴圃

日本幼稚園協會編

幼兒に聽かせるお話 三、八〇〇、一四

同上

日本幼稚園協會編

幼兒の樂しむお話 二、八〇〇、一四

同上

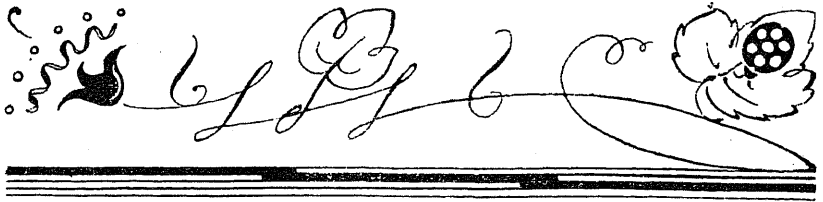
### 最新 幼稚園唱歌集

定價 六一錢  
發行所 日本幼稚園協會

#### 目次

- 一、コッキフレ 倉橋 惣三 作詞 十二、たんぼぼ 大森 敏子 作曲
- 二、幼稚園のお庭 倉橋 惣三 作詞 十三、すずめ 高城 富貴子 作曲
- 三、だるまさん 小松 耕輔 作詞 十四、チューリップ 久保 富貴子 作曲
- 四、お洗濯 相田 多作 作詞 十五、春が来た 池田 孝二 作曲
- 五、汽車 中山 千草 作詞 十六、見拾ひ 宅田 孝二 作曲
- 六、雪よ降れ降れ 辻 繁二 作詞 十七、うさぎ 高城 富貴子 作曲
- 七、煙 津村 孝二 作詞 十八、七五三 土田 千草 作曲
- 八、てんとう蟲 坊田 かつま 作詞 十九、鬼ごっこ 高城 富貴子 作曲
- 九、春 清水 かつま 作詞 二十、お母さま 高城 富貴子 作曲
- 十、お窓の雨 吉田 武土 作詞 廿一、てんてん 高城 富貴子 作曲
- 十一、小鳥のおはなし 杉山 太郎 作詞 廿二、おんまり 宅 孝二 作曲
- 十二、おはなし 高城 富貴子 作詞 廿三、春の野花 宅 孝二 作曲

最新 幼稚園唱歌集の第二版が出来ました。本會死てぎ  
しく御註文下さい。御注文の際は是非前金にてお申し込  
み下さい。 日本幼稚園協會



第 四 第 育 教 の 兒 幼 卷 一 十 四 第

— (次 目) —

扉	國民幼稚園の名に於て(三)	倉橋惣三(一)
	科學教育と幼稚園―座談會(二)	(二)
	防空に關して保姆は何を心得るべきか	多田鐵雄(二〇)
	毎日の保育問題	上澤謙二(二三)
	幼兒の自由畫	及川ふみ(七)
	慰問袋―誘導保育の主題	徳久智江子(三)
	幼稚園兒のお辨當調査	山本秋子(二四)
	こどもミチユリツブ	船田ふさ(二五)
	各地保育 静岡縣並静岡市保育會の概況	金原伸子(二六)
	フレーベル賞入選童話	
	蛙の子供	吉井正子(二七)
	鼠さんの雪だるま	山本スマ(二八)
	月刊「幼兒の母」に就て	(二九)
	幼兒の母	(三〇)

倉橋惣三編 (新刊)

# 新體幼稚園唱歌

四六倍判  
定價(送料共)  
金七拾錢

目 日本の旗日の丸の旗  
次 道 ぶ し ん  
倉橋惣三 作詞  
小松耕輔 作曲  
井上武惣三 作曲

いうびんやさん  
弘田龍太郎 作詞  
渡し場の船頭さん  
倉橋惣三 作詞  
中山晋平 作曲  
火消しのをぢさん  
倉橋惣三 作曲  
小林つや江 作曲

日本幼稚園協會編 (新刊)

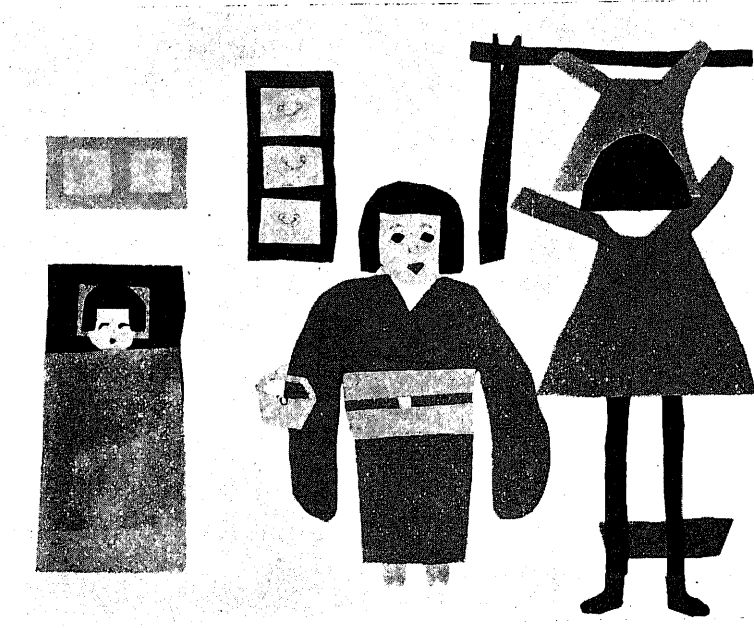
# 幼稚園新唱歌

四六倍判  
定價(送料共)  
金五拾錢

目 だ か  
次 雨 小杉山  
小松耕輔 作詞  
小松耕輔 作曲

ほ た る  
ふ し ん 場  
青山綾子 作詞  
小松耕輔 作曲  
氏原銀 作詞  
小松耕輔 作曲

○この二つの新刊幼稚園唱歌集は、幼稚園の爲に新しい歌曲を求めて居らるゝ方々に必ずや充分歓迎せらるゝことを期待してゐる。



見渡すと、全然ひらつたものは、どこにもない。立つてゐる簞笥は素より、敷いてゐる蒲團でも、竹竿にほしてある着物でも、みんな厚味のないものはない。クレオンでも、色鉛筆でも、なか／＼出せないその厚味を、らく／＼と救つて呉れるのが貼り繪である。工匠は可愛い、指で、次々に貼つていきながら、實體の世界に満足してゐる。(倉橋生)

# て於に名の園稚幼民國

性繼連のと校學民國(三)

## 三 物 橋 倉

幼稚園は必ずしも、國民學校の準備教育機關といふ譯のものではない。それは全生涯の基本教育を志すものであつて、従来の小學校が中等學校の準備機關でもあるかのやうになつた風の誤りは、こゝでも警しめなければならぬことである。しかし、就學前の教育を就學後の教育との當然の、いふよりも寧ろ自然のいふべき連続性は、充分顧慮せらるべきである。進んで發揮せらるべきでもある。

その連続性は、ざれ／＼の線に沿ふていふよりも、教育効果の全面性に於て、先づいはれなければならぬ。つまり、よき幼稚園教育は、よき國民學校入學兒童をつくるのである。しかも、この綜括的連続さといふべきことの中に、特に取り立て、見て、二つの方面が注目せられ得る。その一つは、國民學校の國民錬成への大要旨に對して、全く同一方向への幼兒の性情の指向である。これは、國民學校への爲といふよりも、苟も日本教育たるものの一貫の連続性であつて、特に擧ぐるまでもないことでもあるが、國民幼稚園から國民學校へもたらす一大内容でもなければならぬ。次に、その二として注目せられる點は、新國民學校に於ける教育方法、わけても低學年の教育方法に對する兒童の適正なる態度さ、幼稚園教育の正しい効果の連続である。この點に就ては、従来の小學校低學年と幼稚園との間に、必ずしも圓滑なる連續を實現し得ないことのアつたのに對して、大に期待を新たにし得るのである。それは一つに、國民學校の低學年の教育方法の面目一新によることであつて、従来の低學年に於ける急激なる學科別主義や、知能上の抽象主義は折角幼稚園で受けた生活主義修練さ相容れないものがあつたのである。それに比し、これからは、幼稚園に於て、就學前幼兒らしい學習的(?)態度が正しく整へられてさへるれば、それがそのまゝに、就學後に要求せられ、訓練せらるべき學習態度さ、背馳するところなく連續するのである。國民幼稚園の教育効果は、この喜ばしき意味に於て、就學前の教育としての一つの正しい位置を主張し得るのである。但し、この時に當つて、幼稚園の方に、従来の小學校低學年に似たるが如き舊態を持するものがあつたさしたら、また何をか言はんやである。



# 園稚幼と育教學科

## 會談座

### 觀察の材料の扱ひ方

柴田 お話が違ひますが、綺麗なもの、

食へるものなごをこわしたり、散らかしたり、おもちゃにするのはごういふものでせうか、

堀 理科だから、何でもこわすごいふのは、我々大變嫌ふ。こわしたり、苛めたり、ふみにじつたりするごいふのは破壊本能の現れだが、夫を其の儘繰返させる事はいけない。

柴田 今日丈はむしつてもいゝご言ふやうなごは？

堀 夫はいけない。例へば菊の花の觀察をするのにむしらなくてもよい。むしつたらその後の仕末が大切である。

留岡 春の野はむしる様に伺つたが、

堀 いやむしるごはいひませんよ、花束を作るのはいゝ事だ、クローバーをごつて兎にやるごかすればいゝ、それも可愛想で出来ない等ごいふならば魚等食べられないじやないか、

### 出席者（五十音順）

堀 七 藏氏

下谷、竹町幼稚園 鎌田 玄人

日本橋、千代田幼稚園 加茂川 シゲ

麴町、麴町幼稚園 柴田 みどり

神奈川縣大磯幼稚園 須子 啓子

麴町、番町幼稚園 徳久 智江子

巢鴨、十文字幼稚園 留岡 よし子

下谷、黒門幼稚園 早塚 文

小石川、大和郷幼稚園 坂内 ミツ

京橋、鐵砲洲幼稚園 穂積 篤子

京橋、月島幼稚園 蒔田 ソヨ

下谷、入谷幼稚園 松田 才和

日本橋、濱町幼稚園 水野 世玄

京橋、京橋幼稚園 山木 節

麻布、若葉會幼稚園 八木澤 まげ

麴町、富士見町幼稚園 山村 きよ

主催者側

期日 二月八日  
場所 於女高師附屬幼稚園

二

留岡 春の野をさうしたらよいでせうか、

堀 所有主のあるものご無いものごで違ふ

水野 鑑賞ご自分のものにするのをご分けて

教へたら鎌田 むづかし

いでせうね、堀 區別はつかないが、つく

様に訓練しなければならぬ。

大分以前のこご或小學校で六百人の兒童を郊外に連れ出した。丁度

馬鈴薯が芽を出してゐる。東京の子ごも達は馬鈴薯は八百屋にあるもの位にしか思つてゐない。大變珍らしがつて傍によつてみた。そこまではよい。子供は蒐集本能があるもので、取つてよろしいかご先生に聞いた。先生はよろしいご許すご、一人に許したので皆も自分も自分もご引抜いてごつて来た。其の時百姓は見てゐない。そして皆は歸つて来た。其の話をしたのは某學務委員だが、「此頃の學校の理科は大變ですな」ごいふ、東京の子ごも達だから、持つて来た丈で後は、萎びさせた。此では理科教育をしない方がよい。結局東京の子が畠を荒した。

ごいふ事にもなる。作物ごそこらにある雜草ごの區別を知らせるのが教育だ、百姓が骨を折つて作つてゐるのを理解させなければならぬ。で、さういふ事は指導しなくては分らない事だ。同じ摘草をするのにも雜草ご作物ご見分けさせる等指導を要する。同じれんげさうをさるにしても百姓の作つてゐるものを、一面に澤山あるからごいつて荒してはいけぬ。その指導が非常に大切である。

### 科學と夢の世界との境界

坂内 違ふ問題ですが、雷が太鼓を叩く、それでよろしいで腹の蟲は納つたが、――  
堀 いや、よろしいごはいはないよ

坂内 科學する、觀察するごいふご、教へなくても本當の所に結びつけないご承知が出来ないのです。夢から現實に連れて來ないご、承知が出来ないのです。

堀 いや、夢の世界を破つてはいけぬ。

太鼓を叩いてゐるのが本當ご思つてゐるのに電氣ご電氣のぶつかりあひだごいつても子供には納得出來ない。一々本當の事ごいふので、理解出來ない科學的知識を教へる必要はない。

坂内 「富子さんの風船」ごいふ話は嘘だが、其の中に科學の芽生えがある。夢の世界を離れて現實の世界に持つて來るのは幾つ位でせうか、

堀 それは區別がつかない。猿蟹合戦で早く芽を出せ……實がなれ……ごすぐになる様だが一方で種を播いてゐてすぐに實がなる様に思はせてはいけぬ。種をまき實がなるまで實際にやつて見せる。一方で猿蟹の話をする。矛盾したごいふ事はない。

坂内 猿蟹の様な話をしてゐたのでは科學ご反對の感じを世間の人が抱かないでせうか、

堀 科學する心を科學的知識を授けるご誤解してゐれば直にさう思ふ。

### 「嵐」の觀察の實例

お話は違ひますが私の取扱つた觀察をありのまゝお話し

て御批判頂きたうございます。

加茂川 東京市の保育研究会に觀察部といふのがあります。嵐の觀察をする様にいはれ、夫から嵐、嵐と思つてゐる。昨年十月の終りに嵐がありました。早速年少組でしてみました。朝、幼稚園に来る途中にみたことを話し子供にも發表させました。木の葉が澤山落ちてゐる。か、傘がおちよこになつた人がある。か、さん／＼發表してくれました。それから一緒に表通りの方を見ませう。といつて玄關の方にゆきました。人通りが少い。か、はすつかひに降る。かのかの有様を實際に見させる。か、今度はお舟は通つてゐるか。しらすいふので隅田川の見える方に行きました。舟は通つてゐません。誰か、鳩ぼつぼはさうしてゐるか。しらすいふので、私は先生が見て來ませう。といつて子供達を待たせておきました。そして「鳩は集つてお話してゐましたよ」といふ。子供達は安心した様でした。最後に私は、今頃は稲のこり入れなのに嵐ではお百姓さんが困るだらう。追加へました。その後年少組でもしてみました。年少組程活潑に發表しました。で何か映畫にでもよつて嵐の状態をみせた方が嵐がどんなものを分らせるのによいでせうか、

堀 いや映畫でも分らない。嵐の状態を體驗させるのはいいが、嵐の觀念を授けるのはむづかしい。觀念的に、稲

のこりいれに困る。といつたつて都會の子供は稲と麥の區別がつかない。米のなる木を知らない。嵐は百姓に困る。といふのは東京の大人にも分らない。嵐の状態を觀察させて、平常に、さう違ふ。はずに降る。傘がおちよこになる。木の葉が落ちてゐる。道を通る人も少い、さいふのを見せで發表させるのはいいが、嵐は何ぞやを理解させ、さういふ譯で起る。さいふのは無理だと思ふ。嵐の先生の經驗を話しても映畫を見せても分らない。映畫は状態を體驗した者が見て始めて分らうが。假に屋根が吹きこんでゐる所を見ても嵐は有形的に出ないから分らないでせう。

大體、題目を作つておくから困るんですね、

#### 觀察に題目をつくることは

山村 幼稚園で觀察をこり入れた時、堀先生の文部省の講習を伺ひましたが、何だか題目をつけない。さいけな。様に思はれました。題目をつけない。實際してゐる事が分らない。漠としてゐたのでは何か觀察しきれない。さいふ事を零圍氣で悟りました。で練りに練り題目を作つて實際記録をこる事になりましたが、題目はつけるべきでないでせうか、

堀 私は始めから題目をつけろ。さいはない。去年の今頃、千葉縣のなる。この町から自然の觀察をするから是非

批評して貰ひたいさいふので行つた事がある。一年は、讀本の教材にある電話ごつこだつた。この町には電話はあるが兒童の家全部にあるわけではない。先生は、此は電話だ、此で話をするさよく聞えるさいふ。それがなくても聞える様な大きな聲でいつてゐる。さうして聞えるかさいへば、先生が話す此の紙がビリ／＼する。其のビリ／＼するのが糸に傳はり夫が向うの紙に傳はり又ビリ／＼する。それで聞えるさいふ。こんな理窟を教へるのを自然の觀察はまことに馬鹿げた事だ、さういふ事ですぐ分るなら、グラハムベルを待たなくても、もつこ早くから、電話機は出來てゐる筈だ。三年生では、血の循環について教へるさいふ。お前達は病氣した事があるだらうさいいつて病氣をした事にし、醫者に診てもらつたらうさ無理に診てもらつた事にしてゐる。そして「醫者は何處をみたか」「脈をみたのだ、脈は一分間に七十五だ」、先生が時計をみてゐるから、脈を計れさいふ。子ぎも達は手首を探つてみるが、容易に分らない。先生は分るだらう／＼さいふが兒童に脈がさうしても分らない。そこで先生はそれではさ手首をかういふ風に（上下する）動かして御覽、そら分るだらうさいふ。兒童には手首の動くのが分る。そこで一分間経つて、さあ幾つあつたかさ聞いてみるさ十八乃至二十一位にしか答へない。そんな

筈はないさ二回しても矢張り同じだ。それはつまり手首を動かす回数を數へたのである。それから今度は脈を打つと同時に心臓がドキ／＼してゐるんだ、さあ此處を抑へてみるさ着物の上から胸を押さへてドキドキしてゐるだらう、さういふ時に血が體中を廻つてゐるのだ、それが血の循環だ、さいふ。結局そんな事はやらない方がよかつたのである。手首を動かさせたから脈が分らなくなつたのだし、着物の上から觸らせたから脈が分らなくなつてしまつた。血の循環を觀念的に教へるのでは却つて分らなくしてしまつたのである。自然の觀察で題目を與へるささうしても夫に捉はれ觀念的な知識を授けることになつていけない。幼稚園の保育項目に觀察が加はつたのは非常な進歩だが、題目を拵へて捉はれ、先生があやふやな知識を授けるさいふのは誤解である。

#### 國家の要求と幼稚園の觀察

菊池 高度國防國家の建設が叫ばれてゐる現在、一方に科學する心さいはれるのは國家は一人の武器をつくる者を要求してゐるのではないでせうか、

堀 無論さういふことも含まれてゐる。一人や二人でなく大勢。併し其の爲には國民全部がさういふ下地がなくてはならない。例へば戰車兵は一人でタンク内で操縦、修理、射撃、通信する能力を備へねばならない。つまり一人

で四つか五つの能力を備へてゐなければならぬ。それは二年間の兵役期間ではさうする事も出来ない。基礎として國民全部が機械を操縦することが出来る能力を持つてゐなくてはならない。また物事を科學的に處理する能力をもつてゐなくてはならぬ。しかし科學するといふのは、現在の死んだ科學的知識を覚えさせることではない。菊池 さういふ事について、幼稚園で今までに仕向け方が違ふといふ事はないでせうか、

堀 第一に教へる事をやめて出来る丈夫子供自身にいろいろのものを作らせたりいぢらせたりさせる。例へば落下傘でも、子供が拵へて置ばす。おもりの工合で開き方が違ふ。そのおもりは傘の大きさと違ふ。さういふ事を拵へる間に工夫する力を養ふ。玩具製作を入れてゐるのもその爲である。保育の場合に、玩具や砂を使つていろいろ工夫させるのはよい。その時高い程度を望まず、満四歳ならそれ丈の努力をすれば出来るといふ程度のものでござる。

幼稚園の觀察

柴田 幼稚園での觀察は自然を愛する丈でなくものを深くみて科學する心を起す爲の方便にするのですね。自然がこりつきやすいから。

堀 さう極端でも困る。子供は自然と離れて生活してゐな

いんだもの、自然を理解する事は人生、國家の發展上大切だから、嵐等についても正確な認識を持ち如何にして避けるかが大切。かういふものです分つたかといつても分るもんではない。「自然物や自然現象について國民生活に須要の知識を得させ、科學的處理の初歩に習熟させ、科學的精神を涵養する」この何れもが大切である。併し此は先生の持つてゐるものを注ぎこむことではない。

柴田 春に自然に親しむ爲にはこれがいゝ、ミ題目を出しておくのは如何でせうか、

堀 いや、むづかしい事はない。春の野に遊ばせておけばよい。

山村 子ぎもが見たか、知つたか、知りたい氣持があるのです。

堀 教へたい氣持の方が大きいだらう。

山村 私も觀察部から頼まれて、兎の觀察記録をまつてるのですが、三度も失敗しました。子ぎもはたゞぢつとしてゐるだけでした。

堀 それでよい。失敗と思ふのは記録を持つて行きたいからで、その爲に知りたいと思ふのだらう。

徳久 よく見る子は見、ぼんやりしてゐる子はたゞぼんやりしてゐる。

堀 ぼんやりしてゐる子の爲に、他の人に足踏させる必要

はない。みせようとするのにぼんやりしてゐるさいふのはぎこか病氣だからでせう。兎を出して、兎はみんなにしてさぶだらう、一つ眞似してみなさいさいふを眞似してみようとしてさぶ。誰がうまい、まづい、兎の耳はぎんな工合か？眞似してみなさい、さ眞似させる。又兎を畫に描かしてみろ。よく畫く子さ悪いのさある。それは悪いなりに繰返すさよくなる。

よく引く例だが東北の或る小學校で猫と鼠の共存關係を教へるさいふので實物の用意をして授業をした。授業前に見せるさ興味が薄くなるさいふので籠に入れた儘教卓の下においた。そして、猫の顔をみた事があるか、鼠をみた事があるか、なごさ形の如き問答をした後これから猫が鼠をさる所をみせてやるさ目的提示をした。そして籠から猫を出し鼠を出したが猫は猫をかぶつてゐる鼠をさらない。鼠はめんくらつて捉へられようさしない。舞臺監督のやうな顔をした校長が早くした方がよいさいふので眼で教授者に合圖をした。そこで教授者が鞭で猫を軽く打つさ猫は動かないで鼠が活動をした。そして校長のズボンの中に入つてしまつた。するさ校長は大變、一生懸命足を振つて鼠を出さうとする。教授者は鞭をすてて校長のズボンの中から鼠を出さうとする。しかし鼠は中々出ない。それで猫が鼠をさる活劇でなく校長さ訓導

の活劇さなつた。しかし鼠はさうしたこま校長のズボンからボーンささび出して隣の室に逃げてしまつた。再に歸つた訓導は授業を始めようさ教壇に上がつて猫はさ見れば今までの活劇の間に猫は何時のまにかさるさ見えてゐるさいふ始末。この授業で猫が鼠をさるさころを見せられなかつたが猫はみんなに猫をかぶるものか、鼠はみんなによくたての物でもかけ上がるか。鼠は一寸した所にもかくれるものださいふやうなこまを観せるに好い機會であつた。つまり鼠の運動の方法、猫の習性をみせるのにいゝ機會だつた。兎等をみせるさいふ時に耳の長いのをみせようさしたら別に計畫しなくてもよい。子供はすぐみつけるし、まねをしなさいさいふへばそれでよい、しかし兎の唇はみんなになつてゐるか、あなたの唇ささこがらがふかさいつても中々分らない。何故さぶかさいつても中々分らない。そんな理窟を授けるのではない。幼稚園では、兎の眞似をさせ、繪を描かす、描いたものを切つて貼る。面を作らせる。遊戯するさいふこまでよい觀察等に時間をつかはなければならぬさいふ事はなない。觀察に談話、動作が必ず伴ひ、繪、歌が出るさいふわけである。國民學校初等科の自然の觀察もさういふ風にする。

徳久 ラヂオの觀察話はさういふものでせうか、

堀 あれは觀察があるが理科の話だ。

徳久 意味がないわけですね。

磁石や蟲眼鏡で遊ばせることは？

水野 磁石まではゆかないが、馬蹄形をいぢらせるのはさうでせうか、

堀 いゝ

水野 蟲眼鏡は？

堀 いゝ、その前に鏡もよい。其の時にさうして蟲眼鏡は光が集まるでせうと力むのはいけない。さうして磁石に吸ひつくかは今日我々でも分らない。磁石でいろくくやつてゐるさつくものさつかないものさある。ブリキ罐はくつつくが此頃の紙罐はつかない。小さい鉄はつくが大さいのはつかない。かういふ事を經驗させる事が必要である。

標準色のこと

留岡 色の事ですが、青バスこいふあの青は緑で……

堀 國民學校で標準色を定めてゐる。國民全體に色彩觀念を統一する爲に、それで色彩掛圖を各教室に掲げる様になる。

坂内 ゴーストツブが緑と赤ですが、あれでは紅綠盲の人

には……

堀 あれはやはり目立つから、

坂内 紅綠盲が多いのにわざと分らないのを使ふのは？

堀 結局三原色が問題になつて来る。白、黒にしては問題になるまい。黄、青にしても困る。小學校の算術書は色盲の者に分らないので困るさいつてゐる。がそれはいはば不具だから、少數のそれで一般を律するわけにはゆかない。

鎌田 一年の理科の時間をみましたがあぶり出しをしてゐました。あれは幼稚園でもしてゐるのですが、

堀 ござもが文字を教はりたがるのに教へるなさいふのはかたくなでをかしい。小學校であぶり出しをするからしてはいけないさいふ事はない。たゞ唱歌は、小學校でするものを幼稚園でして悪い癖のついてゐるのがある。そして知つてゐるさいふので悪い癖のまゝ歌つて本當のを覚えようさしない。國民學校の藝能科音楽で必修教材に選擇教材があるが、必ずするさいふのを見込んでおいておやりにならなくともよいでせう。その方がお互ひの爲でせう。

文字と幼稚園

留岡 字の話ですが、先走つて教へるのではありませんが覚えてゐても、小學校の先生の取扱ひによるのでないでせうか、のびる子をのばさずにおくのは惜しいと思ひます。

堀 義務教育で困るさいふのはおやりにならない方がよい  
でせう。一年生に入つた時は非常によく字を覚えてゐた  
が六年の今では全く他の子と同じさいふがある。書く  
さいふ事も出来るさいふが指導する事になるミ筆順なき  
始めの悪い癖がさうしても抜けぬ事があつて文句が出  
るのです。幼稚園では自然に任せておかず、字を覚えて  
がる子には筆順なきも指導してよい。

## 結 び

倉橋 私止むを得ない用事の爲に途中から来たのです  
が、質問せられる方の眞剣な態度、又答へて下さる堀先  
生の御熱心さに、本日のこの會の誠に有意義であつたの  
を観察(?)いたしました。皆さんの中にはまだく質問  
がお有りのやうで、こゝでこの會を閉ちますのは誠に惜  
しいと思ひますが豫定の時間も疾うに過ぎて居りますか  
ら一先つこゝで終ることに致しませう。

最後に私の立場から一言つけ加へさせていたゞきます  
が、引力の法則を發見したニュートンは、獨りで林檎の  
木から落ちるのを見て不思議に思つたのでせうか、又蒸  
氣機關を發明したワットも、自分一人で、煮えたつた鐵  
瓶の蓋のよりあがるのを見て不思議がつたのでせうか？  
私は決してさうでは無かつたらうと思ひたいのです。

ニュートンの傍にはきつミニュートンのお母さまも一緒

に見てゐて、

「林檎が落ちて来たが、不思議だね。さうしてだらう」  
ミおつしやつて、ニュートンミいつしよに不思議がつた  
のだらうと思ひます。又ワットの傍にもきつミお母さま  
なり、はたの人が一緒に見てゐてワットの抱いた不思議  
を助長し、他日その不思議をさうしても解決しないでは  
居られないやうにした或る力があつたのだらうと思ひま  
す。之れは大變に恣まな想像ですが、かういふ意味で、  
未來のニュートンであり、ワットミなるであらう小さい  
人達のそばにある私達にミつて、今日の集りは誠に有意  
義でありました。堀充生に厚くお禮申上げます。又これ  
からもかういふ集りを時々致しませう。

[終り]



# 防空に關して

## 保母は何を心得るべきか

多田鐵雄

偶々ドイツの「キンダーガルトン」誌上に表記の標題の下に極めて具體的な記述を見出したので、いつか紹介しようかと考へてゐたのであるが、愈々本年に入つて内外に切迫した状態が看取されるので筆を取つた次第であるが、その前に一言しておきたい。

愈々我國でも空襲と云ふ場合に備へるために大都市では老幼者避難の計畫を立て初めたやうである。政府の方針としては、危険地域——主に六大都市を意味するが——に在る十四歳以下の兒童は例外なく避難させる趣きのやうである。而も我國の家屋構造が耐火に對して殆んど無價値である故に火災に對する配慮等もあつて、母親乃至家族と共に幼兒、學童を避難させるやうである。さて、こゝで又々問題なのは幼稚園である。國民學校、は義務教育であり、且つ國家の統一的監督下に在る故に、學童の各自避難にしても、團體的移動にしても、又教育の配當換へにしても相當の計畫と方策がなされるであらうが、恐らく幼稚園に對しては（託兒所の方は厚生省が何かと手を付けることが考へられるが）之を任意

的な施設と見做して何等の方策をも立てまいと、残念ながら想像されるのである。「何故に心ある爲政者の出でざる」かであるが、かと云つて幼稚園當事者は拱手傍觀すべきではない。避難先の幼兒の保育問題（これは殊に母親が勤勞してゐる幼兒の場合に於て重大であるが）、自然閉鎖となる幼稚園の善後策、保母の移動問題、經費の問題等、數へ上げれば切りがない。戦時下に在つては、教育上からも保健上からも一層幼兒教育の必要性は強められて來るのであるから、切に當局の考慮を煩はしたのである。と共に幼稚園當事者に於てもかゝる混亂の裡に在つてこそ、一層その使命を發揮すべきであり、倉橋教授の所謂國民幼稚園たる性格を徹底せしめるべきであらう。

「防空に關して保母は何を心得るべきか」の問題は多くの保母達に取つて意外の感があるかも知れない。と同時に他の多くの保母は「何を心得るべきかだつて？ 私達は保育時

間に空襲警報が鳴つたらば、何をなすべきか云ふことは、もうすでに考へ決めてあるのに云ふかも知れない。

成程、危険地域の保母達は防空局から既に必要な諸規定を受取つたであらう。然し一般の保母達は少くも一應耳を傾けておくべきである。第一に防空局の示した適当な防空施設の設備に關する一般的規定を遵守せねばならぬことは當然である。この一般的規定は衆知の事柄であるからここでは觸れぬとして、幼稚園だけに關して簡單に一言すれば「幼稚園經營者は、その園内、或ひは極く近くの場所に、幼児を收容し得る防空壕を持つやうに配慮せねばならぬ。」云ふことである。

破裂彈を防ぐためには、壕の入口に砂囊を積めばよいが、この仕事は年かさの幼児が力を協せればやりまげられる程度のものであらう。

防空壕に備へねばならぬものは、電燈、懐中電燈、火消し用の灰、水桶、梯子、斧、その他の道具である。

それと共に幼児が可成長時間にわたつて壕に居る場合に必要となるものが備へられてなければならぬ。即ち、

藥罐數個と蓋付の桶  
新鮮な飲料水

熱いお茶を入れた魔法罐（屢々空襲警報を聞く地方に於ては、壕内で冷え込む幼児を温ためるための飲料として、

ハツカ入りのお茶の魔法罐を毎朝壕内に運んでおくことが望ましい。）

軍用パン（幼児のお八つを壕内に運ぶ役割、警報の際に軍用パン入の籠を運ぶ役割を豫め定めておくべきである。）

防空壕内には適當に若干の腰掛ミテーブルを二つ置いておく。それには屋外用のものを運び入れておけばよいであらう。又日常使はなくて濟む遊具、恩物等で適當なものを籠か箱に入れて防空壕内で用ふるために用意しておく。

防空壕への道が急傾斜であれば、幼児が轉んだり、不必要に手間取つたりしないやうに、豫め手摺を付けておく。

更に、少くも二三の幼児を寝かせる場合のこゝを考慮しておかねばならぬ。一番よいのは安樂椅子か鐵製ベツトで、それに敷布、掛薄圍を用意しておく。幼児は暗い處に居るに非常に疲れが早いものであるし、又興奮した幼児は之を横臥させて安靜にさせる要があるからである。

以上のこゝは何も事立てて書き上げる程のこゝもない位、當然のこゝである。最も重要なこゝは保母自身の正しい行動であり、同時に幼児を正しく行動させる教育である。即ち、保母自身が自若たる態度を取り得るのでなければならぬ。そしてかかる態度は凡ゆる場合のこゝを豫め熟考し、規定しておくこゝによつて初めて可能である。空襲警

報を聞いてからでは遅きに失するのである。豫め熟考し、規定しておかねばならぬ主たる事柄は次の諸點である。即ち

- 1、幼児は最先に何をなすべきか。
- 2、幼児は如何に列を作つて並ぶか。(若し階段を行かねばならぬならば、二列以上にならぬやうにせねばならぬ。又大きい幼児は自分がぎの幼児ミ手をつなぐべきかを知つてゐねばならぬ。)
- 3、ぎの道を通つて防空壕へ行くべきか。
- 4、幼児のマントや外套を防空壕へ運ぶことを誰が受持つか。又幼児が自ら自分の所持品を持つて行く餘裕があるかぎうか(マントや外套を著るのは防空壕へ入つてから行ふやうにする。著るのは時間がかかるからである。)
- 5、軍用バン、縋帶箱、茶の藥罐は誰が運ぶか。又樋に水を汲んで運ぶのは誰が受持つか。

これらのこゝが規定されたらば、直ちに避難訓練を行ふこゝである。それによつてその規定の不備な點が発見されるであらうから、實際の場合の来る前に之を是正しておく。更に第二回、第三回も訓練をつづけて幼児を習慣付けて行く。なぜならば小さい幼児には説明や命令は役に立たない。取り分け興奮性の兒童には尙更のこゝである。かか

る訓練の間に保母は夫々の幼児ミその行動を熟知する。

又、幼稚園には小さい責任を引受け得るほどの洞察力ミ思考力を持つてゐる幼児が幾人かは居るものである。その反面、不安ミ驚きのあまり防空壕へ行くこゝを極力拒みつつけるやうな幼児もよく在るものである。

こゝで我々は就中、母親に注意を喚起しておきたい。

それは幼児が云ふこゝを聞かない。時に、「さう云ふこゝを聞かないミ、暗い中へ押込めますよ」云つておぎす母親が居るが、かかるおぎしを繰返すミ、暗いところは恐い處ミ云ふ感を幼児に與へてしまふ。かかるこゝは充分考慮して、やめてもらはなければならぬ。かかる幼児は防空壕へ導くさきに思はざる手数を掛けるものである。

保母は幼児が自宅でこれに似た恐怖感を植付けられてゐるかぎうかをよく洞察して、防空壕が決して恐い處でないミ云ふやうに教へ導いて行かねばならぬミ共に、その母親達にもよく注意を與へておくべきである。

最後に單に幼稚園の内部でだけでなく、土地の防空警護係ミ充分なる打合せをしておかねばならぬ。

# 毎日の保育問題 (六)

上 澤 謙 二

## 一 一 ポケットの中の黍がら

お庭で自由あそびの時、ふさ江ちゃん胸のまごころのポケットを見た先生はハツミした。そのポケットから、わづかにはみ出してゐる赤、青、黄、紫の黍がらを見たのである。途端に顔はカツミあつくなつて、背中はひやりミ汗ばんだ―それ程のシヨックを受けたのである。

その黍がらは、さつきお細工をする時使つたものである。さうしてお細工が済んでから、子供達がほしがつて『先生、私に頂戴、少し頂戴』さねだつたのを、大勢にやり出したら際限がないし、又さういふ習慣をつけるのはよくないと思つて『これはお細工だけに使ふの。おもちゃにしないのね』といつて、戸棚の中へしまつたものなのである。それを今、その子供のポケットの中に見出したのである。

それ程のシヨックを、先生が受けたのも無理はない。

子供もハツミしたらしい。その證據には、ちよつこむづかしい表情が、何かの影のやうに顔を掠めると同時に、右手でひよつこそのポケットをおさへたのである。

まごころで、それ程のシヨックを受けたけれども、先生はさういふ心の激動を、顔色にさへ表はすまいと、力めてさあらぬやうにした。又相手のさういふ氣合を見て取つたけれども、わざと知らないやうにわきを向いて『Mちゃん、ブランコよく漕げるわね』なごこいつた。

それは勿論問題が取るに足らぬ小さいものだからではない。けつしてそれを紛らしてしまふためではない。否、全くその反対である。問題が、その場で直に解決し難い重大なものだからである。そつこして置いてひそかによく／＼

考へねばならないものだからである。

先生はブランコしてゐる子供に聲をかけたたり、杵登りのまはりを歩きながら見上げたり、お砂場の中へはいつたりした。けれどさうしてゐる間も、この問題が心にこびりついて離れなかつた。そのやうにその目も絶えずHちゃんから離れなかつた。遠くからでもそれさなく注視した。

けれどもうHちゃんに何の違つたさころも認められなかつた。いつものやうにキャツ／＼と聲を立てて鬼ごっこをしてゐる。

先生はさう／＼園舎のうしろ側へ来て、窓の下によりかかつた。そこへは子供達は來ない。しばらく子供達を離れて考へねばならないと思つたからである。

「この一つの事で、もしあの子を盜癖があるなごと思つたら……」

先づ初めに頭へ浮かんだのはこの考へであつた。

「何さいふ誤解、從て何さいふ不幸だらう。誤解される者の不幸はいふまでもないが、誤解する者も不幸である。

而も教育者にそんなごがあつたら、殊に幼児教育者にそんなごがあつたら……。さういふごは理窟では一應分つてゐる。しかし實際さなるご一既に禁じたものをそつこ持出して、見えないやうなごころへ入れて、ふし人がそこへ目を注ぐご手を當てる子供を見るご一さうもかはいくは

見えない。寧ろ憎らしく見える。その感情が無意識的に基になつて、その子を「悪い子」にしてしまふごがないごいへるだらうか」。

先生は何さなくゾツとした。

「今の自分はさうだらう。けつしてHちゃんを憎いなごさは思へない。それならかはいご思つてゐるか。正直のさころ、特にかはいごは思はれないが、いぢらしいさういふやうな氣持は持つてゐる。さうしてあの柔らかな魂を傷つけないで、この事件を素直に解決したいご希つてゐる。それはたしかだ。ああ、こんな場合に、私は、飾る心からでもなく、義務感からでもなく、眞からさう思つてゐる。Hちゃんに對してさう思へるごは……」

何だかうれしいやうな氣になつた。

「私を見てポケットに手を當てたのも、自分の悪行を隠し晦まさうごするのではない。先生に吐られやしないかさいふ氣遣ひご恐れごからだ」

先生はひさりうなづいた。

「それならさう處置したらよいか。みんなの前で幼児なりに諭さうか、そんな恥かしめるやうなごが、さうして出來よう。それならひさり呼んで吐らうか、そんな荒々しい無情なごが、さうして出來よう。まして責めるごみなご……」

ハーツ、長い消息が胸の奥から出てきた。

「諭すのでない、叱るのでない、責めるのでない、さうだ、話すのだ。おだやかな心持で話すことだ。それも話すために話すのではない。今やつてゐるやうなことをはけつして通らない、必ず成り立たないさいふことを経験させるために話すのだ。さうだ、さういふつもりでおだやかな心持で話さう」

先生は窓の下から離れた。

再びお庭へ来て見るに、Hちゃんはまだ鬼ごっこをつづけてゐる。時々ほかのお友達とつしよに歡聲を擧げる。餘念なく遊びに没頭してゐる有様を見るに、呼ばうとして來たのだが、呼ぶに堪へなかつた。そのまま立つて眺めてゐるに、やがてみんなやや疲れたらしく、又飽きたらしく「一抜けた」「二抜けた」といふ聲に連れて、いつともなくやめになつた。

『Hちゃん！』

呼ぶに『はいさ』、ひびきの物に應ずるやうに返事があるつてかけてきた。ポケットはやはり黍がらでふくれてゐる。

『ああ、この無邪氣さだもの』

さう思つた先生は、その思ひを指先に籠めて、ギョツミHちゃんの手をにぎつて曳きながら、さつき自分がひもりで考へてゐたところへ連れてきた。さうして向き合つた。

いつも來ないところへたつた二人で來たので、Hちゃんは「異常感」を催したらしく、何もなくキョロ／＼しはじめた。その異常感の方が黍がらの記憶より強いためか、ポケットへ手をやるのを忘れてゐる。

先生はその場の異常感を少なくするためにも、相互の親しみを出来るだけ表はすためにも、そこによりかかつてしやがんで、膝の上へHちゃんを腰かけさせ、抱くやうな恰好になつて、いつも會話をするのと同じ調子でいつた。

『Hちゃんのポケットにある黍がら、先生に頂戴ね』

この際の言葉は飽くまでも「通らない」といふ経験への媒介である、もしくは経験の補助である。だから簡にして明なるを旨とする。だから『そのポケットに何があるの』『さいふやうな問はいらぬ、又は』その黍がら、先生に下さる？』『さいふやうな伺ひはいらぬ。そんなことをいへばいふだけ言葉のやり取りが多くなつて、それだけ「直接経験」にしての印象が薄くなる。だから初めから結論を持出すのである。さういはれるに、Hちゃんはだまつて素直にこつくりする。さすがに言葉に出してのはつきりした應答はしない。

『それはHちゃんのものぢやないからね。だからもこのところへ返すのね』

Hちゃんは又こつくりした。

『ぢやあ、頂戴』

Hちやんはすぐ出して渡した。

『かにもありがたう！』

さういつて頭をなぜようこしたか、先生はぐつこその言葉呑みこんだ。

ひよつこ最後にそんなことをいつて、そんなことをさして『はめられた』といふ感じを貽すのはさうか、さうして何さにはなき快感を印するのはさうか。幼児は往々にして一點の強い印象に捉はれて、全體をそれで律してしまふ傾向がある。もしこの最後の一言一行の色合が、事件全體を塗りつぶすやうなことがあつてはならない。

それはいかにも取越苦勞さと思はれ、神經過敏さと思はれるだらう。けれども幼児の世界と大人の世界の異なる甚だしき、時に思ひがけないことが起り、思ひも寄らない結果になる。取越苦勞と神經過敏が表に現はれてはならないが、裏では、奥では、さう思はれるくらゐまで、究め、糺し、備へる必要があらう。

それで先生はかういつた。

『はい、よろしい、よかつたね』

これはほめちぎる言葉、甘やかす言葉ではない。はつきりした、しつかりした結末を與へる言葉である。而も一脈のあたたかに祝福を含んでゐる言葉である。

先生は立上がるに、又Hちやんの手を曳いて、お庭まで

連れてきた。

忽ちお友達が寄つてきて『Hちやん、先生さきこへ行つたの、さきこへ』と、右左から聞く。

何と答へてよいか、Hちやんがまごつくのは必定。それで先生が代つてすぐに答へる。

『ちよつこ向で御用のお話してきたの』

それだけでよい。長くそれにかかづらふことはいらぬ。問ひつ答へつするに、おのづから事件の内容が繰りひろげられて、みんなの前でHちやんが恥かしめられるやうな目に遇ふ恐ろしいことにならぬとも限らぬ。

それで、説明はこの一語で切り上げて、この注意を別方面へ轉換する。

『さあ、又鬼ごっこしませう。チャンケンボン』

早くも先生が腕をふり出すに、忽ちみんなそれに應じて大聲を出した。

『チャンケンボン！』

Hちやんも勿論「別方面の轉換」の空氣に引きこまれて、張りきつた顔をして「ジャンケン」を高唱してゐる。

やがて鬼がきまつて、みんなワット逃げ出した。Hちやんもワツツ聲を擧げて逃げ出した。

先生は鬼に追はれて逃げながらも思つた。

『ああ、よかつた、よかつた』

# 幼 兒 の 自 由 畫

及 川 ふ み

年少組の終りになつて、過去一ヶ年間の幼児の自由畫帖をくりひろげて見た。畫用紙八つ切大十枚一綴の帖面をこの一年間に三冊かき上げた幼児が紙數の多さの上で一番多い方で、一冊の帖面の終り近く畫いてゐるものが一番紙數の少い様である。もつこもこの紙數は日々の出席の様子によつてもちがつてゐる。比較的多く畫く幼児でもお休みが多ければ全體としての分量は少くなつてしまふ。

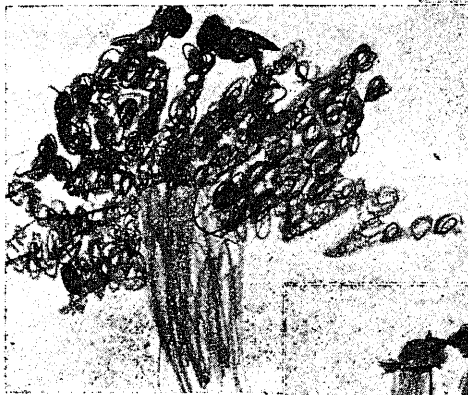
三冊位使ふものが組の中で數人であると同時に、まだ一冊で間にあつてゐるものも極めてわづかで、組の大多數は二冊が多い様である。

去年の四月、五月の入園當初の頃の自由畫帖をひろげて見るに、形にはつきり残つてゐるものだけに、その進みの様子がは

舌切雀の  
お爺さん  
お婆さん







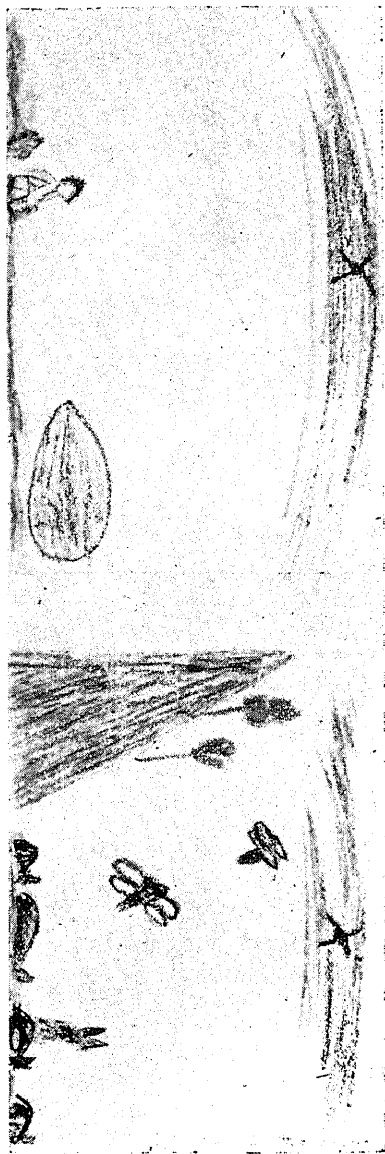
小鳥のおはなし

つきりわかつて面白い。形は勿論のこま、色の區別もつかず、ただ一色或は二色の手當り次第のクレヨンでモチャ／＼かかいてゐた數枚、それからチューリップの花らしく見える花さ葉、電車らしいもの（このチューリップ、電車は幼児の説明を聞くまでもなくそれらしく見える程度のもの）となり、お玉じやくし、汽車、動物、軍艦、兵隊、自動車、なごの題材は主として男兒に多くかゝれるやうになり、お嬢さん、お花、果物、なごの題材は女兒が多く畫く様になる。

概して幼稚園では特別のものをのぞいて、女兒の繪は、畫き方もその題材も男兒には遠く及ばないのが例年の様である。

自由畫は畫き終るさいつも、月日を記入して保育室の一隅に飾つておく。これは幼兒自身の繪の飾られた一つの喜びを受けるためでもあるが、又組のお友達の繪をよく観る機会もつくりたい氣持もある。それで時々には保姆が先頭にたつて順々皆の繪を見て歩いて、これは何をかいたのだミか、面白い繪だミか一つ一つについて軽い批評をしながら観

いばはのうら船



いばはのうら船



賞する時もある。又たゞだまつて眺めてゐるさまもある。

たゞこんな場合に形をなさないでモヂヤ／＼の繪なご一二回續けて飾られるご、お母さん達の中にはその繪のまつさに氣がもめて、花だの、リンゴなぎの簡單な繪を家庭で教へて、かゝせる人がある。こんな幼児は其の後しばらくは、教へられた繪を忠實にまねて何回もなく得意にかいてお母さんをひそかに満足させてゐるものである。お母さんばかりではない保姆さんの中にもあせり氣味の人や、手まめな人は一寸こんな餘計なごをして幼児の繪を損ねるごがある。幸にも今年の組にはそんなごにはわづらはされなかつた。

幼児の繪はそのわざの功拙は二の次の事であつて、ごごまでも、重心のありのまゝの發表であつてほしいものである。たゞ幼児たちは、事物に對しての經驗が貧弱であるし、觀察の機會も少いから繪の題材のもち合せが僅かであるのは當然である。それでよく何をかくの？かけないよ、なぎいふものもある。こんな幼児はそのまゝにしておくご繪をかく事の興味もなくしてしまふし、又こんなごを云はないまでもたゞ幼児の畫くまゝにまかせて置くごいつも同じものばかり畫く様になる。

自由畫の指導の要點もこんなごころから自然さわかつてくる事であるが、幼児たちに畫く材料を、幼児の心の中に

も、眼の前にも充分に與へてやる事である。

時々話す童話の中にも、繪の材料になるごころは多くある事であらうし、又觀察にごもなつて保育室の棚の上のせてある鉢植もよい繪の材料である事は勿論である。

幼児の心や眼に映するものに難易の程度のあるごごはいふまでもない事であるから、最初はごく／＼簡單な材料をえらんでだれにも出来るごいふたてまへでしたい。

かりにリンゴ、ミカン、チューリップなぎの簡單なものであればごく幼稚なものでも、その形、その色なき充分に觀察が出来て、これを繪ごして自分のものごして發表する事が出来る。

幼児が眞の自由畫ごして畫いた外に前にのべた意味あひでかゝせてみた自由畫を参考に、ごごに數葉掲げてみた。

お帖面にはカメ、お玉じやくし、リンゴ、鯉のぼり、お花、舌切雀のおぢいさん、おばあさん、久米川の遠足、運動會、お角力、神武天皇様、因幡の兔、ばくだん三勇士、おひな様なぎがある。

# 慰問袋

——誘導保育の主題——

麴町區番町幼稚園 徳久智江子

幼稚園に於ける保育項目が、小學校の教科目と異つて、総合的に幼児の生活の中に行なはなければならないといふ事は、今更ら言を待たない所でありますが、まだく十分行なはれてゐることは言へないと思ひます。

今度國民學校になるについて學校でも、総合的に取扱はれるといふ事を聞きます時、幼稚園も今一層の研究と努力を必要とすると思ひます。

唯今までやゝもするに「誘導保育」勿論結論ではあるけれども、あれは先生の手の揃つた特殊の所でなければ出来なないといふ様な事を考へられて居た點があるかの様に思ひます。

然し誘導保育とは、何もそんなせい澤な物ではなく、又大がかりでなければならぬといふ事はないと思ひます。

單なる手技としての切紙、觀察として見せるだけといふのでなくて、総合的にぎんぐ遊びが發展し得られるもの

であれば、何でもよいではありませんまいか。

今此處に記しました慰問袋を中心としたものも、その意味におきまして、實に簡單なもので御座います。唯此の中に於て、談話も手技も、觀察も又唱歌、數量觀念等も総合的に取扱ふ事が出来まして、保姆の熟練の細心の心づかひによつてはかなり面白く發展させられると思ふのであります。

x x x

或時、此の事變を中心とした兵隊さんの話について色々話合ひをしました。幼児は家庭での話を耳に入れてゐるを見えて蘭印がさうの、泰國の人が来たんでせうといふ様な話まで持出して先生をびっくりさせました。そして兵隊さんへの感謝の話となり何が一番兵隊さんを喜ばせてあげる事が出来るかといふので

手紙、慰問袋であるといふ事が分りました。

慰問袋を一度も送つた事の無い人はさすがにありません

んでしたので、どんな物を入れたでせうかご、皆で考へて見ました。

鐘詰、煙草、シャツ、靴下、本、人形等々、次々ご思ひ出して言ひました。

丁度、鐵かぶさご、鐵砲が揃つて、男の人達が毎日盛に兵隊ごっこをして居ましたので、先づあの手近な小さい兵隊さんに慰問袋を送らうごいふ事になりました。


一組を三つに分けて、兵隊さん、慰問袋を送る人、賣店や、郵便屋さんになる人をきめました。

先づ始めに慰問袋に入れる物でお店やさんから買つて来る物を考へて見ますご

鐘詰、煙草、本、玩具、風船、石鹼、タオル、シャツ齒ブラシ等色々ありましたので皆で出来る物から作る事にきめました。

### お店


#### ○鐘詰

古葉書の横の両端を折り曲げ、きざみを入れて 、丸くきざみの部分を集めて上下に丸い紙を張るご圓筒が出来ます。此れにめいご好きな鐘詰の畫を書いて張ります。大きいのを作りたい時は、葉書を二枚横に並べて張り、前ご同様になります。

#### ○本

短いお話を聞かせ、それを四五枚に分けて書かせて、(書ける人には説明を裏に書いて)ごじます。又自分でお話を作つて書かせます。

#### ○双眼鏡

古葉書一枚を二つに切り、二つの輪にして短い端紙で中心をつなげて墨で塗ります .

#### ○腕時計

畫用紙に書いて紙テープに張つてもよいですが、牛乳瓶の紙の栓を利用しますご、しつかりして居てごても工合がよろしいです。

#### ○煙草

家から空箱を持寄つたり、又古葉書で箱を作つて上に模様をはります。

これはほんの一例に過ぎませんので、後は幼児の自由の色々の品物を作らせて、出来た物からお店に並べて行きます。お面、人形、フラご人形、風船、こま等々色々作れませう。唯、此の際出来るだけ廢物を活かして作るごいふ事を幼児にも經驗させたいご思ひます。

幼児が品物を作つて居ます間に先生は、お店ご、郵便局ご、袋を作つて置きます。

袋は破れてしまつたりしますご興味がなくなりますの

で、何處の幼稚園にもきつこある事と思ひますが、主のない落し物の半カチを縫合せたり、又カーテンの使用に堪へない物をよく洗つて作りました。

### 郵便局

端書、切手(二錢、四錢)、スタンプ、秤、お金、ポスト、鞆を用意致します。

秤は一寸の事で非常に興味を持ちますので、あつた方がよいと思ひます。丁度輪投げの棒がありましたので、それを利用して横の棒をつけ兩端に箱を下げて片方には石を入れる様に致しました。

切手は二錢、四錢を用意して端書、封書の別を知らせる様に致しました。

### 慰問袋

大體品物も出来ました頃を見はからつて慰問袋を作り始めます。

お店に行つてお買物をした他に、自分の好きな物を作つて入れたり、手紙を書いて入れて、袋の上に大きな荷札をつけて郵便局へ持つて行きます。

局の人は目方をかけたり、スタンプを押したりして、配達役の人が兵隊さんの所へ持つて行きます。

兵隊さんになつた人達は、自分の所へ来るのをとても楽しみにしてゐて、何がは入つて居るか大急ぎで開けて

見て居ました。

受取つた兵隊さんは端書を買つてお返事を出す様にします。

値段は五錢までにして、お釣りを出したりにして五までの觀念をはつきりさせる様になりました。

暫くしてから適當に交代して皆が慰問袋をいたゞける様に致しました。

此の遊びは年長組に適當で、年少組には一寸むづかしいかと思ひます。段々やつで居ります中に、或は暑い所に居る事にするといつて團扇を作つて入れたりして中々面白く發展して行きます。

かうして遊んでゐる中に、暑い處寒い處に晝さなく夜さなく奪戦して下さつて兵隊さんのこまが唄ばれて、こんざは本當の兵隊さんに繪を書いて送つたり、手紙を出したりしたのでございました。

# 幼稚園の

## お晝辨當を調べ

東京女子高等師範  
女子家事科四年生

林の組教生

山本秋子・寺島通子

はしがき

二四

私共幼稚園教生として、短期間ではありましたが、その美しい世界に入り、保育法の實際を體驗させて戴きましたかたはら、家事科の立場より、保育には別に幼稚園児のお晝辨當を調査致し、その栄養價の配合、傾向等を考察して見ました。調査期間が短く、僅か二週間、人数林の組三十人の中出席幼児二十五人についての調べでありますから、極めて範圍の狭い自信の持てない報告となつてしまひましたことを残念に思つて居ります。

さて幼児のお辨當と言ふものは、香川綾女史の調査によるに、子供の三食中、一番澤山食べるやうになつてゐる言ふことです。それ故さうしても完全な栄養をお辨當で與へる必要があり、復お腹も空いてゐる上に、お部屋で大勢で頂く勢で全部残さず頂くやうにしつけられてありますから、かういふ機會を利用して、偏食を矯正し、又栄養價の高いものを與へたいものだも考へます。然し、さうかするに、お辨當のお菜は、子供の好むもの手のかゝらぬもの、見榮のよいものを選び結果、單純で、しかも偏しやすくなるものであります。

次に記しましたのは、一人の子供につき、十日間調査致し、主食物と副食物に分け、便宜上等に、甲、乙、丙、丁の等級を附して見、又私共の考も附加へて見ました。併し一人の子供が十日間出席したのは僅か七人で、中には三日しか見ることの出来なかつたのがあります。尙之は、佐々木先生、近藤耕藏先生に見て戴き御指導を仰ぎました。

日	調 査 實 例		日 々 等 級	平 均 等 級	批 判
	主 食	副 食 物			
1	胚 芽 米	ソーセージ、卵焼	丁	丙	この中では肉が目立つて多く、野菜類との配合が考へられてゐない、ソーセージ卵焼の如き組合せは最も悪いその片方を植物性食品に變へればずつとよくなる、動物性植物性食品の配合は第二週目にはよくいつてゐるが、もつと材料を豊富にしてほしい
2	”	肉、さやえんどう	乙		
3	”	挽肉、いり卵	丁		
4	”	野菜サラダ、ソーセージ、クリーム及肉入り	乙		
5	パ ン	ゆで卵、サラダ(ハム、人参馬鈴薯)	乙		
6	胚芽米(混ぜ飯)	トマトケチャップ、卵焼	丙		
7	胚 芽 米 (の り ま き)	卵焼、きょうな	乙		
8	胚 芽 米	焼魚、馬鈴薯	丙		
9	”	ソーセージ、野菜サラダ	乙		
1	胚 芽 米	ゆで卵、菠薐草、馬鈴薯、人参の煮附	甲	乙	食品の数も多く、野菜をかなり豊富に配して居るのでお辨當としては、相當よい方だと思ふ、ゆで卵は、固茹にするのが、どの調理法によるよりも一番不消化であるから、これは、同じ卵を用ひるなら、とち卵か、焼卵にしてほしい。全體として相當に考へられたお辨當だと思ふ
2	”	さつまいも共きんとん、油揚	丙		
3	”	調味噌、卵焼、煮附(人参、大根)	甲		
4	”	ほうれん草の卵とち	乙		
5	”	たらの子、さつまいも共きんとん、ほうれん草	乙		
6	パ ン	バター(トーストとせるもの)	丁		
7	胚 芽 米	ソーセージ、ゆで卵、さつまいも共きんとん	丙		
8	パ ン	ジャム、焼卵、ほうれん草	乙		
9	胚 芽 米	ライスカレー、福神漬	丙		



日	調査實例		日々等級	平均等級	批判
	主食	副食物			
1	麥飯	こんにやく、ちくわ、さといものうま煮	乙	乙丙	今少し、野菜類を加へる様にしたいし、又、骨ぐるみ食し得る小魚類も加へたい様に思ふ。卵は一般に多く、手輕であるからさの子もよく持參するが、たとそれだけでなしに、やはり、青物などそへたいし、小魚つくだにも加へたくなる
2	..	えび、しゆーまい	乙		
3	..	肉、海苔	丙		
4	..	たらの子、いり卵	丙		
5	..	卵焼	丁		
6	..	卵焼、里いも煮つけ	乙		
7	のりかけ飯	ゆで卵、肉	丁		
8	麥飯	鮭、ちくわ、にく、こんぶ	丙		
9	..	いり卵、うづら豆、ほうれん草	甲		
10	..	肉、魚照焼、こんぶ	丙		

日	調査實例		日々等級	平均等級	批判
	主食	副食物			
1	胚芽米 まぜごはん	卵まぜ、のり、魚、澤庵	丙	乙	いつも變り御飯ばかりで、色どり美しく食慾をそゝるが、これに今少し骨ぐるみ食しうる小魚、青菜を入れたいと思ふ、毎日變り飯で、手数が、相當かゝると思ふが、その手数を、食品を今少し合理的に組合すやうな方面にも用ひてほしい
2	チキンライス	香物(たくわん)	乙		
3	五目飯	人参、グリーンピー、肉、しひたけ、かまぼこ	乙		
4	まぜごはん	肉まぜ、あげ、人参	乙		
5	まぜごはん	卵まぜ、のり	丁		
6	チキンライス	澤庵	乙		
7	胚芽米	いり卵、いんげん、そらまめ、ごぼう、たくわん	甲		
8	..	でんぶ、かぶ、ごぼう、澤庵	乙		

日	調査 實 例		日々等級	平均等級	批 判
	主 食	副 食 物			
1	麥 (平麥 1 割位)	卵焼、ソーセージ、ハム	丁	丙	1,8 の如き、動物性食品のみの組合せはよくない、この様な組合せをする者は、やはり、朝、晩の獻立にも同様な方法をとると想像される。青菜を附加し、今少し植物性食品を多く配する事が必要であると思ふ
2	”	いり卵、じゃがいも煮附	丙		
3	”	コロツケ、海苔	丙		
4	”	卵焼、煮附(里いも、肉、豆腐)	乙		
5	同卵 混 御 上飯	魚、芋の煮附	丙		
6	”	焼魚、じゃがいも煮附	丙		
7	麥 飯	卵焼、おでん(ちくわ、大根)	乙		
8	”	卵焼、鮭	丁		
9	”	かつれつ、じゃがいも煮附	丙		
10	のり”まき	卵、紅生姜	丙		

日	調査 實 例		日々等級	平均等級	批 判
	主 食	副 食 物			
1	胚 芽 米 飯	人參、じゃがいも、玉ねぎの煮附	乙	丙	3食パンの如き時は、他にお菜がほしい、肉、豆類、野菜サラダなど適當にはさむとよい、食品の数を多くすると自然に營養價が上つて来るが、單純である、どうしても偏することはこの例をみてわかる。少し獻立が單純すぎると思ふ
2	”	卵焼、きやらふき	乙		
3	食 パ ン		丁		
4	胚 芽 米	蛤フライ	丁		
5	”	紫蘇、海苔	丁		
6	”	鹽こんぶ、人參、がんとどき、ちくわ、大根のおでん	乙		
7	”	卵、海苔	丙		
8	”	コロツケ	丙		
9	”	生鱈子の煮附、じゃがいも小えび佃煮	乙		
10	”	おむれつ、海苔佃煮	乙		

日	調査實例		日々等級	平均等級	批判
	主食	副食物			
1	胚芽米	卵焼	丁	乙	大體に於て、この程度なら割合に良い方であらう、他の不足の栄養價は、朝晩で補はれるであらうが、(1)の如きは、野菜を附加へたいし、(5)の如きは、もつと動、植物性食品を別に持参させたいと思ふ、もう少し栄養的知識を持つてほしいと思ふ
2	”	竹輪、焼魚、海苔	丙		
3	”	五目飯	丙		
4	”	コロッケ、ほうれん草	乙		
5	パン	バター	丁		
6	胚芽米	野菜の卵とじ	乙		
7	”	蒲鉾、かきフライ、キャベツ、梅干	甲		
8	”	蒲鉾、卵焼	丁		
9	”	肉、キャベツ	乙		
10	”	油揚、牛蒡	乙		
1	胚芽米	卵焼、リンゴの煮たもの、カブ香物、ほうれん草	甲 <sup>o</sup>	甲	相當に模範的なお弁当である、(1)のお菜などとてもよいと思ふ、子供が如何にもおいしさうだ、食べたいと喜びさうな目先をかへた獻立であり、しかも手近な栄養のある、しかもぜいたくでない材料が賢明に使はれてゐると思ふ
2	”	いか味噌焼、じゃがいも、カブ香物ごま	甲		
3	おすし	卵焼、かんべう、はす	乙		
4	パン	ゆで卵、ハム	丙		
5	胚芽米	魚、大根煮附、カブ香物	乙		
6	”	焼魚、はんぺん、カブ香物青菜	甲		
7	”	鶏肉、卵(おやこ)、ねぎ、カブ漬物	甲		
8	”	卵焼、じゃがいも、ほうれん草、カブ漬物	甲		

日	調査 實 例		日々等級	平均等級	批 判
	主 食	副 食 物			
1	胚 芽 米	のりまき、卵、人参	乙	丙	子供のお辨當らしく、如何にも可愛くおいしきうに、目先の變つたものを考へてある様に思ふ、が、それと共に、今少し榮養的方面の心やりがあつたら、どんなに良いかと考へられる
2	パ ン	バター	丁		
3	胚 芽 米	のり、肉	丁		
4	おむすび	じやがいも、うま煮	丁		
5	„	卵焼、のり、キャベツ漬物	乙		
6	おむすび 胚 芽 米	卵焼でまいたもの、人参うま煮	乙		
7	のりまき	焼魚、澤庵	丙		
8	のりまき	卵焼、大根煮、澤庵	乙		
9	おむすび	卵焼	丙		
10	玉子まきおむすび	煮魚、澤庵	丙		

日	調査 實 例		日々等級	平均等級	批 判
	主 食	副 食 物			
1	パン (食パン、菓子パン)	ソーセージ、ゆで卵、もやし	甲	甲	食品数が多いので必然的に榮養價が整ふであらうが、動物性植物性食品が實にたくみに配合され、パンにしても必ず、お菜入れにお菜をそへて持參させる、蛋白質は勿論ビタミン、灰分に於ても申分ない、榮養の知識の深い母親と、敬服したくなる、これだけにするには、かなり手数がかゝるであらうがお辨當として完全であると思ふ
2	パン (食パン、菓子パン)	ゆで卵、切干大根煮附、魚、さつまいも	甲		
3	胚 芽 米	海苔、卵焼、肉、切干、里いも、ほうれん草、カリフラワー	甲°		
4	„	肉、卵焼、ほうれん草、カリフラワー、切干、海苔	甲°		
5	„	鯉節と海苔かけ飯、魚干物切干、でんぶ、カリフラワー、馬鈴薯煮附	甲°		
6	パ ン	切干、キャベツ	甲		
7	„	ハム、油揚、白魚佃煮、もやし	甲		
8	胚芽米おいなり のりまき	肉、卵焼、白魚佃煮、もやし、干びよう	甲°		
9	鯉節のりかけ飯	卵焼、白す干、キャベツ、紅生姜	甲		
10	胚 芽 米	焼卵、牛蒡、ほうれん草	甲		

日	調査 實 例		日々等級	平均等級	批 判
	主 食	副 食 物			
1	白米、胚芽米	卵焼、さつまあげ、海苔	丙	乙、丙	2の如き時野菜、豆類、動植物性食品等添加 6の如き時も同上の注意を要す、あまり考へられてない献立である、今少し、栄養價のある材料を上手に用ひてほしい 4、5、7等はかなりよいと思ふ
2	コッペー	ジャム	丁		
3	白米、胚芽米	さつまいも、海苔	丙		
4	混ぜ御飯	豆、干えび、海苔	乙		
5	”	ちくわ駄、いものおでん、野菜まぜ飯	乙		
6	のりまき	鯉節入り。	丁		
7	白米、胚芽米	ちくわ、切干煮附海苔	丙		
8	”	さつまいも、さつまあげ、海苔	乙		
9	”	卵焼、ほうれん草、海苔	乙		

日	調査 實 例		日々等級	平均等級	批 判
	主 食	主 食 物			
1	胚芽米	奈良漬線切	丁	丁	このお辨當は、全體の中で最悪と言つてもよい位、誠に愛すべき物である、(1)の如き、たゞ奈良漬のみ等は、實に、母親がどうかしてゐると思はれる、全く栄養の知識の無さが現れ、子供の將來に暗いかげが想像される
2	”	蒲鉾、奈良漬	丁		
3	パン	肉、馬鈴薯	丙		
4	胚芽米	卵焼、さつまあげ	丙		
5	”	卵焼、海苔、奈良漬	丁		
6	まきずし	中味奈良漬ののりまき	丁		
1	パン	トーストにせしもの	丁	丙	之も、上の程ではないが、あまりのぞましいものではない、何もお晝辨當のみで栄養價の完全を期するとは言はないまでも、或程度の考慮がはられねばならぬと思ふ、しかし、朝晩で如何に栄養に富むものか食すにしてもお辨當のお菜の配合から推察して、やはり少し注意を要すると思ふ
2	胚芽米	いり卵、海苔	丁		
3	”	こんにやく、人参、牛蒡、蓮の煮附	丙		
4	”	魚の干物、里芋の煮附	乙		
5	混ぜ飯	昆布、蓮、人参、黒豆	乙		
6	胚芽米	ゆで卵のうらごし	丁		
7	”	おから、澤庵	丙		
8	”	焼魚、牛蒡、澤庵	丙		
9	”	焼魚、金平牛蒡、澤庵	丙		

日	調査實例		日々等級	平均等級	批 判
	主 食	副 食 物			
1	胚 芽 米	いり卵、鶏肉、じゃが薯、ほうれん草	甲	甲	大體に於て、非常に考へられたお辨當であると思ふ、手近な材料をたくみに用ひ、頭ある方の作られたものだと思ふ、一般向の模範辨當であり、しかも子供の喜ぶやうに色々目先を變へた所などもよい
2	パ ン	いり卵、トマトのサンドイッチ	甲		
3	胚 芽 米	鶏肉、魚肉すり身、ほうれん草	甲		
4	”	いり卵、挽肉、さつまいも	乙		
5	”	魚煮附、卵焼、かぶ、大根漬物、のり	甲		
6	お に ぎ り	焼卵、肉野菜入りきんちやく	甲		
1	胚 芽 米	ソーセージ、蓮と牛蒡の煮附	乙	乙丙	野菜類ごとに青菜が 10 日間の食事を通して一度も附いてゐない、食品の数は相當あるけれども、それが栄養的に配合されてゐないのは悲しい、今少し、青菜、小魚類を多くとるやうに、注意するとよいと思ふ
2	”	卵焼、鮭、海苔巻	丙		
3	チキンライス	蓮、こんにやく、福神漬、澤庵	乙		
4	胚 芽 米	小豆、卵寄せ(挽肉、人参、ほうれん草)	甲		
5	”	ウインナーソーセージ、梅干、澤庵	乙		
6	”	卵焼、蓮の煮附	丙		
7	”	海苔巻、鮭、蓮煮附、福神漬	丙		
8	”	福神漬、梅干、卵焼、こんにやく、ごぼうの煮附	乙		
9	”	福神漬、梅干、切干大根煮附、肉團子のあんかけ	乙		
10	”	コロツケ、鹽昆布、のりまき、福神漬	丙		

### むすび

以上、私共受持の林の組について調べた結果の報告(同じ様な缺陷竝に長所を持つてゐるものは重複しますのでカット致しました)でありませんが、尙之は、前表中、胚芽米とありますのは、七分搗胚芽米に大體三割一四割外米入りの、現在市販の米と思はれるものであります。又、麥飯とありますのは、上記胚芽米に一割位、平むぎが入つて居るやうでした。

等級中、甲は、理想的と思はれる、他の模範たるお菜とみこめてつけ

乙は、(甲)とまではいかないまでも、お辨當でこれ位ならよい方だ

丙は、やゝ榮養的でない

ので今少し注意すればよい。

丁は、少しお辨當としては、亂暴かと思はれる様なものとして、つけてみたのであります。故に、甲、乙程度ならよいが、丙、丁程度は、少し考へる必要があると思ひます。

總括的に、結果を調べて見ます。

甲 九%

乙 四二%

丙 四二%

丁 七%ありました。

(甲)では、①卵焼、肉、切干、里いも、海苔、ほうれん草、カリフラワー

②卵焼、肉、白魚佃煮、もやし

③パン、ソーセージ、ゆで卵、もやし

④パン、いり卵、まご、小魚佃煮

と言ふ工合に、成分的にも多彩の上からも配合よく、ゆきこいて居ります。

(乙)に屬するものは、

(1)オムレツ、海苔佃煮

(2)肉、かまぼこ、しひたけ、人蔘、グリーンピース

(3)あげ、リンゴ

の如きもので、大體之位であれば、他の不足の栄養價は、朝、夕食事で補はれるものも考へられる。(乙)に屬するも

の位であれば、お辨當としては上等であらうと思ふ。そして、之が全體の殆ど半分を占めてゐることは望ましい。

(丙)に屬するものは

(1)ちくわ、切干、海苔

(2)卵焼

(3)コロッケ、鹽昆布、海苔、福神漬

(4)焼魚、澤庵

の如きもので、蛋白質は、きの家庭でも随分よく考へられてゐるのに、野菜が不足してゐる事が多く、或はカロリーが不足してゐる場合、主食が胚芽米でない、たゞパンを代用してゐる、と言ふのが多かつた。

(丁)に屬するものは

(1)あんパン二ヶ

(2)のり肉

(3)ゆで卵、肉

(4)しそ、のり

の如きものですが、(1)之は、お店から買ったのをそのままなのでせう、成分から見ますならば、含水炭素に又含水炭素を附加へるやうなもので、例へば、白米に白砂糖をかけて食べさせるのと同じやうなもの。お晝にパンを持たせると言ふことは一日一度異つた主食を與へる事が出来ると言ふ點、御飯以外の主食に馴れさせると言ふ點、携帯が便

利と言ふ點から、良いと思ふれけき、パンにする時は、胚芽米と同じ意味で玄穀粉の黒、パンにしてお菜は、豆、野菜、魚に脂肪類も適當にこり入れたい、しかし、色々な材料に缺乏してゐる今日現在あるもので、之を適當に用ひることは相當に頭があると思ふ。(3)の如く動物性食品のみ揃へるのは、家庭に於ける毎食もこの様なものをこつて居られるかと思はれ、かういふ食餌を長く續けてゐるに早晩何かの障礙が起ると思はれ、發育期には良質の動物性蛋白質は相當に必要であるれき決して野菜を忘れてはならない。

以上甲、乙、丙、丁の等級に互り二三例をあげて説明しましたが、香川女史の研究による、「普通幼稚園時代では一日一四〇〇カロリーは與へねばならない、内お辨當で約四〇〇カロリーを與へ内御飯で三〇〇カロリーを補ふ」のが適當の事です、三〇〇カロリーと言ふは御飯二〇〇瓦位で中型お辨當箱に一杯、お茶碗軽く二杯、残りを副食物で與へるのです、動物性食品と植物性食品が大體一・三位の取合せがよいこの事です、然し獨りお辨當の完全のみ期しても一日中の全體の食事がよく備はらなければ充分な栄養をさらせる事は出来ないから朝夕の食事にも考へ合せ、又家庭と幼稚園とが充分提携してその實をあげたいものだも考へます。

只今の僅かな調査に特に憂ふべきと思はれるのは、全體

の僅か七%であるれきも、全國的に見ると、子供の營養と言ふ事に、未だ未だ寒心すべきものがあるのではないかと考へます。未來の日本を背負ふべき幼い兒等を、立派に育て上ぐべき母親、又母親となるべき者に、營養の知識を與へるべき充分の教育がなされねばならないと痛感致します。尙ほ御參考までに、先日新聞紙に發表になりました女子營養學園案の國民食の中の幼児の分の切抜きをお目にかけます。

○幼兒の國民食(七歳)

朝		晝	
一、胚芽七分搗米ご飯	二、みそ汁(人參、牛蒡、油揚)	一、ホットビスケット	二、牛乳
三、たら子(和)	四、はうれん草金糸巻	三、菜果サラダ	三、メリケン
五、香の物	一、ご飯	大根	馬鈴薯
	二、人參	油揚	
	三、みそ	たら子	
	四、牛蒡	小蕪	
	五、豆腐		
	六、大豆粉		
	七、人參		



朝		夕				三時	
一、雑炊	二、漬物	四、香の物	三、コロッケ(キヤベツバター炒め)	二、野菜碗	一、胚芽七分搗米ご飯	一、ホットケーキ	りんご
ご飯	はうれん草	ご飯	馬鈴薯	人參	みかん	メリケン粉	牛乳
一〇〇グラム	二〇	二〇〇グラム	五〇	一〇	一〇〇	五〇グラム	一八〇
みそ	白すぼし	鯉	白菜漬	大根		バター	みかん
一〇〇グラム	五	七〇グラム	二〇	一〇		五グラム	一〇

この概算 魚八〇、豆一五、野菜二六〇、果物一二〇、牛乳一八〇グラム、總熱量一五五二カロリー、蛋白質六二・〇グラム、價格三一、一錢

○幼児の國民食(三歳)

夕		三時		晝	
三、小松菜胡麻和	二、野菜入オムレツ、トマトソースかけ	一、胚芽米ご飯	二、牛乳	一、胚芽米ご飯	二、あんかけ豆腐
ご飯	玉葱	みかん	甘藷	ご飯	白菜煮浸し
一五〇グラム	一〇	一〇〇	一〇〇グラム	一五〇グラム	五〇
玉子	人参	牛乳	バター	豆腐	白菜
五〇グラム	五	一八〇	三	五〇グラム	一〇
大根	小松菜				なら漬
三〇	七〇				三四

この概算 野菜類一五〇、果物一〇〇、豆六〇、魚七〇、牛乳一八〇グラム、總熱量一一九七カロリー、蛋白質四一・一グラム、價格二九、四錢

# こどもとチューリップ

附屬幼稚園 船田ふさ

時折こどもの話すこぼに詩味の溢れてゐるものがあります。さうしたこぼを少しづつ書きこつてゐましたが、

この頃は子供達自身で自由に片假名が書ける様になりましたので、子供達はめい／＼で何かさおもふまゝを書いて居ります。書かせる、さいふ事は幼稚園ではいけないのかも知れませんが、兵隊さんに數回慰問文を差上げたのが習慣になりましたものか又は單に覺えたい盛りの爲か、さても喜んで書いて居ります。

此頃こども達のノート(自由に何でも書かせます)にはチューリップの事が大分書いてあります。チューリップはあの赤線の單純な強い色が印象鮮明で子供に好かれるらしく、自由にお花を畫くさいへば先づチューリップさいふ程でございます。そのチューリップがこども達の家の南向きの庭で芽を出しはじめました。又花屋の店頭であの鉛筆の先の様なこつぼりした首をかしげる様になつたものですか、こども達は喜んで描いたり、話したり致して居ります。書いたものの中のは大分調子の良いのもありますが凡て天

衣無縫、自由自在詩です。少し拾つてみます。

チューリップサン／＼

ナアニ

モウハルヨ

サヨカイナ

チューリップハオドロイテ

メチサマシテイヒマシタ

此は七つの子で大變空想力の強い子です「サヨカイナ」等表現するあたり此の子の滑稽な或る性質を良く出してゐる様に思ひます。

オウチニハチューリップガウメテアルノ

コヤシタイッバイヤリマシタ

ハヤクメガデルトイイナア

此はやはり七つの女子で平常は口数の少ない子ですが書く時は仲々よく発表します。球根を埋めた時から關心を持つてゐたのでせう。

チユーリップノハナガサキマシタ  
 バットキレイニサキマシタ  
 オユニハイツテキタノデス  
 チユーリップノハナガサキマシタ  
 キレイニキレイニサキマシタ

これも七つの女の子、チユーリップを開かせようとお湯につける等現代的小隊木の匂が致します。だゞ此方は、何の焦慮もなく、無邪氣に科學したまでです。

アオイチユーリップノハツバ  
 オハナハアカイチユーリップ  
 オハナバタケニウエマセウ  
 キレイニタクサンウエマセウ

チユーリップの葉つばの色は緑を知らず赤いお帽子青い服に歌ふ爲か、よく青いを申します、この子は八つの子さまでしては極めて浪漫的な女の子です。

チユーリップハキレイダナ  
 ソレニカハイイナ  
 ホントニカハイイナ  
 チユーリップノオウタモ  
 オモシロイナア

チユーリップのおうたさいふのは、チユーリップ兵隊の事です。

ワタシハチユーリップデス  
 マダマダメガデナイ  
 ソノウチダンダンダシマス  
 ダガハナハナカナカサカナイ  
 ダンダンハルガチカズイテ  
 シガツガキタラ  
 ソノウチハナガサク

これは七つの男の子、かう書いてゐるに際限がありませんからこれで止めますが、こども達は何か寫生をするお話を書くさいつて直にこんなに書いてゐます。よく指導すれば詩藪豊かな人になるのでせうけれど私はたゞ感心してきゝ又みてゐる許りでございます。

各地保育  
會の活動

# 静岡縣並静岡市保育會概況

静岡市立静岡幼稚園長

金 原 伸 子

静岡市保育會の實狀を述べようと思ひますが、それには静岡縣保育會の概況を並述しなければなりません。それは市保育會は發生上からひも、事業上からも縣保育會と關係があり、殊に市保育會の事業經營は常に縣保育會の運營を其の一部に攝取して、地の利から得る調節をはかつてゐるからであります。

故に静岡縣教育會保育部と、静岡縣幼児教育研究會、静岡市保育會とに關して、その相關的立場を記述したならば静岡市保育會の狀況を傳へ得られると共に、縣下保育會の一般に就て述べることにならうと思ひます。又縣下の各幼稚園は皆縣全體の事業と照合しつゝ各自の經營をしてゐるので、この記述は同時に縣下各地の保育狀況を知るの緣由ともなりはしないだらうかと思ひます。

## 〔一〕静岡縣教育會保育部

創設 明治四十年五月静岡縣保育會として創立以來二十  
有三年本縣幼稚園教育の振興普及に盡す。

改名 昭和四年二月縣教育總會の決議により、教育會の  
一部として特設せられ同年四年教育會保育部として第  
一回總會開催

現在役員

保育部長 静岡縣女子師範學校長 山東善之進  
保育副部長 三支部長之を兼任す

東部 沼津市立沼津幼稚園長 外岡千代藏  
中部 静岡市立静岡幼稚園長 金原伸子  
西部 濱松市立縣居幼稚園長 袴田彦一

本部の目的及事業  
社團法人静岡縣教育會が定備されてゐる故に、その一部たる本部は整然たる組織を成し、目的達成のために事業を劃然と營んでゐる。

規程第三條 本部ハ保母ノ協同團結ヲ圖リ教育上ノ研究  
調査ヲナシ幼兒保育ノ普及改善並ニ振興ヲ圖ルヲ以テ  
目的トス

規程第五條 本部ハ毎年一回總會ヲ開催シ其ノ他左ノ事

業ヲ行フモノトス、講習會、幼兒教育研究會、縣内外

保育狀況視察、其他、

本部は總會を中心行事として、年々東中西、三支部を順  
順に廻り、全會費の均霑を計つてきたところに一つの特色  
があります。事業を例示すれば、

昭和十年度

(1)總會 會場(中部)清水市  
建議案

幼稚園指導機關の擴充を圖るやう縣當局に建議するこ

と 東部提出

協議題

本縣幼稚園使用の塗繪帖を制定するの可否、若し制定  
するにせば如何なる内容を供へたるものが適當なるか  
中部提出

園兒保健施設上留意すべき點如何

西部提出

談話題

幼稚園として非常時訓練の實際を承りたし 西部提出

研究發表 (各園保姆)

○若き芽生を育みつゝ

○幼兒保健の小さき試み

○我が園に於て實施したる紙芝居の効果について

○漫畫ミ子供

○我が園實施の夏季林間保育について

○教育的立場より見たる自由畫

(2)幼稚園長會議

學務部長を始め縣官御來臨の上縣下幼稚園長(七五名)會  
議を開催し、經營竝に保育に關する指示事項等の詳細なる  
説明あり引き續き聽取事項の答申發表をなす

聽取事項 幼兒保育上特に留意しつゝある事項

(3)縣保育要目作製發表

先年度中より作製にかゝる本縣保育要目昭和十一年一月  
完成。 以上

昭和十二年度以降は、次の項に於て述べますところの幼  
兒教育研究會なるものを、縣直接に主催するに及んで、總  
會行事の中樞をなす研究發表、協議の部分等を之に含ませて、  
本部としては會員の修養、實力養成に努力することに、なり  
ました。

昭和十二年度

總會

會場 (中部)靜岡市

講演 「保育者の心構」 東京女高師 會 橋 教授

昭和十三年度

總會

會場 (西部) 金谷町

講演 「時局の認識と保育」

東京文理科 樽崎博士  
大學教授

見學 牧野原茶園及製茶試驗場

昭和十五年度

紀元二千六百年奉祝 紀念總會  
教育勅語換發五十周年

會場 (東部) 沼津市

聽取事項 保育上特に賤を重んじ家庭と聯絡をなし善

良なる習慣を養成するに努めらるゝ實際案

講演 「國民幼稚園の經營について」

東京女高師 倉橋教授

### (二) 幼兒教育研究會

大正十五年幼稚園令改正に際して、静岡縣幼兒教育研究會が創設され、毎年縣補助金を得て事業を經營してまゐりました。

幼稚園令改正當時は、保姆の有資格者が非常に少かつた爲、本會は縣の承認を得て、資格を與へる爲の講習會を開催し、尙一般保姆の實力養成につぎましたが、その貢獻は少くありません。爾來年々繼續いたしましたが一例をあげますれば、

昭和八年度

#### 一、長期講習

目的 資格附與及一般保姆實力養成

期間 離岡市、濱松市、沼津市の三支部に於て四ヶ月間

自九月 隔週土曜日 八回七十二時間

科目、教育、幼兒心理、博物、圖畫、手工、

講師 東部 沼津高等女學校

中部 静岡女子師範學校 各科擔任職員

西部 濱松師範學校

#### 二、夏期講習

期間 八月(三日間)

科目及講師

兒童心理 廣島文理科教授 久保良英先生

童話 文部省囑託 櫻葉 勇先生

昭和九年度

#### 一、夏期講習

期間 八月(三日間)

講師 京都 野上博士 「幼兒心理」

東京 佐々木英先生 童話指導

昭和十年度

本年度は縣補助金を三支部に分配して各部に於て研究、中部に於ける研究は、

會場並會期 静岡幼稚園に於て十月五、六日

講師 奈良女高師 會澤タガエ先生  
附屬幼稚園

科目 各科保育上につきての講演並に保育の實際

昭和十一年度

長期講習 前年の通り

昭和十二年度

本年度以降は縣にて補助金を交附せず縣自體で主催して  
保育研究會を招集するこゝになりました。即ち、  
保育研究會

會場 靜岡市

臨席 縣學務部長、視學官、縣視學全員、學校衛生技師

出席者 縣下全園長、主任保母

聽取事項園

- 1、園兒保健に關し特に留意しつゝある事項
- 2、園兒性情陶冶に關し特に留意しつゝある事項

講演並講師

「保育の本質より眺めて」 東京女高師 倉橋教授

昭和十三年度以降大體之に準じて行はれ、奈良女高師

森川教授或は樽崎博士を聘して講演を伺ふ等以つて現

在に及んでゐる。

(三) 靜岡市保育會

開設 昭和六年六月、靜岡市保母會として開設

改名 昭和八年十二月二十三日、靜岡市保育會と改名

従來の保母會を市内に於ける保育事業關係者一般の會

合さすべく協議の結果、會員投票に基いて靜岡市保育會と決定。たまく皇太子殿下御誕生日になつて、佳き先幸を祝福したのであります。

加盟保育團體幼稚園、十五、保育園、六、托兒所、二會費、加盟團體は各一年に二圓の會費を負擔する。

第一回例會

昭和九年二月二十四日、畏くも皇太子殿下御降誕奉祝日中を選び、縣官並に市上司の來臨を請ひて披露會を開き本會の發展を期した次第であります。

事業

座談會、研究會、講演會、親睦會等

大規模のもの、大會合のものは縣が主催いたします。

本會はそれを地の利によつて全會員が均霑し得るので、便宜上それ等をも本會事業の中に考慮して、本會は専ら、全員お互が打ち解けた親しみの裡に、自由に充分に事業の遂行がなされることを越旨とし、しかも

忸れて怠ることなきやう研究と向上を計つてまゐります。

毎回の事業は特別の行事以外、當番制として其の計畫、日時、會場、方法等は當番園が幹事と協議の上決定し、其の準備、當日の幹旋等も當番園が責任をもつて事にあたります。

當保育會は縣の中央たる關係上、縣内の他の保育團體に比べて、講師の招聘も比較的容易に、時には名士の來岡せられたのをそのまゝ、聘して有益な會合を催すこともあります。事業を催すに適當な會員數を、地域内に纏められてゐることも好都合の一つであります。仍つて左記の如き事業が、縣主催の大規模行事に混み合ふことなく、遂行されてゆきます。尙諸會合の機會に出来る限りは附近の會員外の同職の方にも御案内して出席の便宜をはかつて居ります。市は中心に、市は模範に、市は率先に。本會員は及ばずながら常に念願いたしてゐるのであります。

#### 最近の事業例示

##### 童話實演並研究座談會

會員及市内在住の童話會員(主に小學校職員)と合同にて開催、靜岡幼稚園々兒に對する童話の實演をなし、引き続き研究座談會をなす。

##### 非常時局に關する保育懇談會

女子師範學校長より目下の非常時局中の保育者として、さるべき態度及びこの際に於ける、幼兒の訓練又は防空令公布下の實際の注意等細かにお話あり、又靜岡ホーム保育學園長より戰時中に於ける幼兒の教育上特に注意すべき事等、歐洲戰爭後に現はれたる實例をあげて話され、一同にて種々懇談研究をなす。

##### 國體本義の繼續研究會

講師

靜岡女子師範學校長

自昭和十三年一月  
至同 七月

##### 乳幼兒愛護週間展覽會

縣及市社會課と聯絡をさり各園より保育參考製作品の出品をなす。

##### 幼稚園塗繪帖作製

本會にて研究作製したるものを縣保育總會の際協議し、決議の上本縣塗繪帖として制定し、其の後縣内一般使用の上研究を重ね改正を加へ現行のものに至る。

##### 市内陸軍病院慰問

本會主催、園兒の唱歌遊戲慰問、手技慰問品贈呈(七夕飾り其の他の手技品)會員園兒の據出金にて慰問品(運動具及浴場設備品)を贈る。

##### 講演會、講習會

名士の御來岡の機又は御通過のついで等御依頼し、又は休暇休日等を利用して有益なる會合をなす。

##### 運動、遠足

體位向上、親睦の意をもちて遠足、密柑山登り春の地引網等に出かけたる事もあり。

##### 靜岡市聯合母の大會

講師

東京玉川學園長 小原 國芳先生

##### 二千六百年記念聯合母の大會



講師 中央社會事業協會囑託 高島 巖先生

古事記の研究

二千六百一年の繼續研究として、本年一月より古事記の研究を開始、約一ヶ年間位(他の行事を取り入れつゝ)隔週土曜日午後二時間。

講師 静岡女子師範學校松浦教諭

國民學校總論につきて

古事記の研究後講師の御都合のつく限り、毎回繼續講演の豫定

講師 静岡女子師範學校校長

縣保育部長として常に御熱心にお世話下さる女子師範學校長は、本會の顧問であります、尙又本會の加盟團體である女子師範學校内千代田幼稚園の園長である關係上、御都合のつく限りは常に例會へも出席下され、其の他講師として便宜をお圖り下さる等本會のため非常に好都合にて、本會進展の上にも誠に喜ばしい次第であります。

現在役員 常任幹事

幹事

”

”

顧問

静岡幼稚園長 金原 伸子

静岡ホトム保育學園長 石丸 隼

静岡女子供相談所 戸崎 潛龍

櫻花幼稚園長 林 叔子

木花幼稚園長 永田こはな

静岡縣女子師範學校校長 山東善之進

家庭教育要綱案 (朝日新聞より)

教育審議會で決定

教育審議會二十六回整理委員會は二日交通部に開かれ「社會教育」に關する答申案中の「家庭教育」に關し左の如き答申要綱案を決定した。

要綱案

- 一、家庭教育は女子育成の基礎たるをもつて、皇國の道に則り、わが國家族制度の美風を振起して、家庭生活を充實し、健全有爲なる子女を薰陶するをもつて趣旨となすこと
- 二、家庭教育においては左記事項に留意すること
  - (一) 家に對するわが國固有の觀念を把握せしめ、家族制度の眞精神に徹せしむること
  - (二) 健全なる家風の樹立に力むるとともに、家庭生活の刷新改善を圖ること
  - (三) 敬神宗祖の念を養ひ、家における祭祀及び行事を重んずること
  - (四) 子女の躰を重視して、その善良なる品性、剛健なる精神、淳美なる情操の涵養、正しき習慣の修得、實踐躬行の訓練に力むること
  - (五) 子女の保健衛生に留意するとともに、鍛鍊を重んじ、強靱なる身心の育成に力むること
  - (六) 子女に對し科學的教養訓練を行ふこと
  - (七) 家庭においては學校と密接周到なる聯絡を圖り、子女の教養上遺憾なからしむること
- 三、婦人諸團體をして家庭教育の振興に資せしむること
- 四、母の會等の施設の整備を圖り國民學校、幼稚園、託兒所等に普及徹底せしむること
- 五、家庭教育に關する指導者の養成ならびに講習等の整備擴充を圖ること
- 六、家庭教育の研究に關する施設をなすこと

フレーベル賞入選童話

## 佳作 『蛙の子供』

吉井正子

秋のお空は何處までも何處までも續いてゐます。雲一つ無いお空を見て居ますと、體中がじーんと熱くなつて來る様な日でありました。畑の隅にある垣根の間からピョン／＼やつて來るものがあります、それは青い小さな蛙の子供でした。

今までその蛙の子供は垣根の向ふにある沼の中の、水蓮の葉つばの上に座つて居つたのです。そしてまだ見た事の無い陸を考へて居たのでした。「陸はどんな所かしら？子供がある陸に僕も行つて見たい」蛙はさつきから考へてゐたのでした。そしてさう／＼水蓮の葉つばの上から、青い秋のお空の映つてゐる水の中に飛び込んだのでした。

それでたつた今この垣根の間から出て來たわけなのです。ピョン、小さい蛙は前足を踏む張つて空を見上げました。

陸から見上げた空は又さても綺麗でした。蛙はその出張つた眼を見張りました。そして急に嬉しくなつて「陸へ來たぞ」を鳴きました。蛙の喉がふく／＼動きました。

けれど其の時蛙は大眞面目な顔になつて前方を見つめました。そして黒い陸の土を踏みながらのそ／＼歩き始めたのです。けれど水の中と違つて早く行けません。

けれど一生懸命でした。

蛙の白いお腹が薄黒く汚れて來ました。そしてやつと着いたのは何處でしたせう。それは道端に咲いてゐる野菊の花の處でした。蛙はビョン／＼と菊の花の下まで飛んで行きました。

その菊は眞白な小さい花でありました。細かい花びらが一ぱい集つて一つの花になつてゐる可愛らしい花でありました。蛙はびつくりした顔で鳴きました。

「君は誰ですか？」つて。その花は黙つてゐました。そして何さと言へない良い匂ひが流れて來ました。

「ね、君は誰ですか？」今度は其の葉っぱに飛び着いて見ました。けれど黙つて花は一寸揺れただけでした。今まで蛙はこんな綺麗な、こんなに良い匂ひのするものは見たことがありませんでした。

蛙は暫く花の下で一人で良い氣持になつて居りました。きの位経つたせう。

蛙は急に思ひ出した様に歩き出しました。そして急に飛上つたかと思ふ垣根の向ふのお庭の方に飛び始めました。

「子供が居る、子供が居る」

蛙はお庭の石の陰からのぞいて思ひました。そして又のそ／＼歩き出しました。その時蛙は大きな音を聞いて飛上りました。そして見廻すさうでせう。

大きな木が幾本も幾本も立つてゐるではありませんか。

「おや、何時の間にか林に來てしまつた」小さい蛙がのそ／＼歩き出すと、おや？その林ものそ／＼ついて來るではないですか。そして林の上の方で「わー蛙だ」言ふ聲がします。

「はてな。あ、子供だ」、蛙はやつと氣がつかました。そしてぶる／＼震へ出しました。

そして水蓮の上から出掛けて來るのでは無かつたと思ひました。

子供が意地悪をするこいふ事を、お母さんから聞かされてゐたことを今思ひ出したからなのです。

蛙は前足を踏ん張つたきり、前にも後にも行けなくなつて終ひました。もう捕へられるか、もう捕へられるが。蛙はすつかり困つてちごこまつて小さくなつて居りました。けれぎわいわい言つてゐるばかりで捕へられる様子がありません。蛙がそうつご歩き出すと林だと思つた足もぞろ／＼ついて來ます。

「びよん、ぞろつ、びよん、ぞろつ」

蛙が行く方向に足がついて來るではありませんか。蛙は一寸安心してそつごお耳を傾けました。子供が何さか言つてゐるからです。

そしたら「この蛙、迷子なんだよ」「生意氣に歩くからさ」「こんな聲がします。

蛙はこの時色々な氣がしてく／＼鳴きました。

「やあ鳴いた。早くお家へ歸してやらう」言ふ聲がしたかと思ふと澤山の足が一度にばたん音をたて、上の方でし／＼言ふ聲がしました。蛙はびつくりして又飛上つて終ひました。そして早く逃げ様さしましたが何處にも蛙が出る様なすきがありません。

蛙は又すつかり困つて終ひました。この時「あ、蛙が困つてゐるよ。途が無いのだもの」つて言ふ聲がして前の方がばつご明るくなりました。

途が出來たのです、途が。蛙は急いで歩き始めました。歩いてゐる中に蛙の目から涙がこぼれて來ました。嬉しくて／＼蛙は一生懸命飛びました。

後からぞろ／＼子供達がついて來る足音がします。子供は愛國行進曲を歌つて居ります。そして何處までも何處までも蛙のお供です。かうして蛙はさう／＼沼の側まで來て終ひました。もう秋の日も夕方になつて、蛙が出掛ける時青かつた沼のお水には亦い夕焼が映つて居りました。

蛙はク、ウミ鳴いて沼の中に飛込みました。そしてあの蓮の葉つばの上に歸り着きました。蛙は今日見て來た陸の事を又考へました。そして陸は良かつたと思ひました。

蛙は廣い／＼紅い夕焼空を見上げながら「明日も天氣になーれ」ミカ一ぱいに鳴き續けてをりました。

をほり

佳作 『鼠さんの雪だるま』

山 本 ス マ

チュウ吉さん、チュウ子さんは可愛い、鼠の子供さんです。二人のお家は太郎さんのお家のお二階にありました。お二階には小さなお窓がありました。小さなお窓からは何でも何でもそれはよく見えました。高い木でも、お空の雲でも、電線で遊んでゐる雀さんでも……。

ある晩チュウ吉さんは寢床へ入る前に、小さなお窓からお顔を出してお外を見て居りました。お外は眞暗で何にも見えません。でも之中、眞暗なお空から白いものがひらひら落ちてくるのが見えました。

「おやー雪かしらー」

チュウ吉さんはまあ面白いお眼々をくるくるさせ乍ら見て居りました。白いものはだん／＼澤山になりました。

「雪だよ！雪だよ！チュウ子ちゃん！来てごらん」

ミチュウ吉さんは大きなお聲でチュウ子さんを呼びました。

「お兄ちゃんなあに」

チュウ子ちゃんは急いでやつて来ました。二人はもううれしくてうれしくてたまりません。大きなお聲で

「大雪小雪 雪こんこ」

お屋根も お庭も 雪こんこ……」

さうたひはじめました。そのうち二人は眠くなつたので、お寢床へもぐり込んでぐつすりおねんねしてしまひました。

あくる朝、チュウ吉さんミチュウ子さんが起きて見ますさまあ大變、お屋根もお庭も眞白に雪が積つてゐます。高い木の枝はまるでお花が咲いた様、電線にだつてふはふはの雪が一杯なんです。

「素敵！素敵！」

二人は思はずお手々を叩きました。そして

「ねえ、お外へゆかうよ」

つて直ぐさまいつて見たんです。でもお母様が、

「ほら、お外ではまだ雪こんこが降つてゐるでせう。もう少しして止んでからになさいね」

ミ仰有るものですから少しの間お家にゐる事にしました。お炬燵にあたつて御本なんかひろげてゐましたけご、チュウ吉さんもチュウ子さんもお窓の方ばかり見てゐました。だつて雪こんこが止んだらお外へ出られるんですもの。

少し経つてから、お外の方でバンザイつてお聲がきこえました。チュウ吉さんもチュウ子さんも、びよこんミお炬燵からミび出して急いでお窓のミこ迄行つて見ました。もう何時の間にか雪は止んでゐます。お窓からのぞいて見ますミ、おやく、お家の太郎さんやお隣の次郎さんたちが、大きな雪だるまの前でバンザイをしてゐるんです。大きな雪だるまさんは大きなお顔に大きなお眼々でじつミこちちを見てゐます。

「おやーあれはなんだらうー」

チュウ吉さんは不思議さうにいひました。チュウ子さんだつて、お眼々をばちくりさせてゐ

ます。だつて二人も雪だるまなんか見たのはじめてなんですもの。

「いつて見ようよ」

「えへ、いつて見ませうよ」

「早速二人はかけ出しました。お二階のはしご段をトン／＼とかけ降りてお靴をはきました。お外に出るに、真白に光つてゐる雪の中にぼつんと大きなだるまさんが立つてゐるのが見えました。太郎さんたちはもうるません。大きな雪だるまはまん丸いお眼々をくる／＼させてく／＼を見つてゐます。」

「ねえチュウ子ちゃん、なんだらう」

「さあ、なんかしら」

「大きなお眼々、僕こはいな」

「ほんごにこはいねえ」

二人はこはく／＼そうつと近づきました。雪だるまさんはやつぱり大きなお眼々をくるくるさせてゐます。

「兄ちゃん、でもちつとも動かないのね」

「チュウ子ちゃんが申しました。」

「うんさうだなあ、ほんごに動かないね」

チュウ吉さんもチュウ子ちゃんも少しばかり安心しました。

「ぢやね、二人でもつとそばへ行つて見ようか」

「えへ」

チュウ吉さん、チュウ子さんはそうつと雪だるまさんの前へ出ました。そして

「小父ちゃん」

と呼んで見ました。でもチュウ吉さんもチュウ子さんも小さいし、お聲だつてきつても小さか

つたのでよきこえません。雪だるまさんはやつぱりだまつて大きなお眼々をくるくくさせて  
ります。一人は今度は大きなお聲で

「小父ちゃん!!」

きよびました。そのお聲に雪だるまさんはやつき氣がきました。そして二人を見つめるこ  
「なあんだ、ねづみさんか」

大きなお聲で申しました。チュウ吉さんは懸命に

「小父ちゃんは誰なの?」

つて尋ねました。雪だるまさんはいきなりあはははは笑つてから

「小父ちゃんはね、雪だるまさ」

つていひました。

「あゝさう、雪だるまさんなの?、だけご一體ごこから來たの?」

「あのね小父ちゃんはね、太郎ちゃんや次郎ちゃんたちがつくつてくれたの」

「へーえさう、小父ちゃんは作つて頂いたの?」

「うんさうだよ」

「だけご一人ぢやつまないねえ。僕たちお友達を作つてあげようか」

「うん、そりや面白い」

「小父ちゃんはごてもうれしさうです。」

「だけごあたし、つくれるかしら」

「チュウ子ちゃんが心配さうにきよました。」

「大丈夫さ」

チュウ吉さんは、もう大元氣、早速雪をころがしはじめました。ころくくくくくく。お  
洋服もお頭も雪だらけ、でも平氣、ころくくくくくくくく、みるみる丸い雪の玉が出来てきま



した。

「チュウ子ちゃんはお頭を作るんだよ」

「えゝ大丈夫よ」

チュウさんも大元氣、ころ／＼／＼／＼／＼／＼、これもみる／＼中に丸くふくれてゆきま  
す。

「さあもういゝよ。さつこいしよ」

ミチュウ吉さんは丸い雪の玉を抱へて来て、大きな雪だるまさんのそばへおきました。チュウ  
子さんミ負けずにさつこいしよ、お頭がちあんミ出来上りました。大きい雪だるまさんは又そ  
れを見て

「あはゝゝゝゝゝ」

ミ笑ひ出しました。だつて小さいチュウ吉さんミチュウ子さんが作った雪だるまですもの、そ  
れは／＼小さかつたのです。でも小父ちゃんは大喜び、

「さうもありがたう」

つてお禮をいひましたよ。チュウ吉さんもチュウ子さんも大よろこび、

「小父ちゃん、お友達出来たからもつゝ永いこゝろて頂載ね」

つてお願ひしましたの。だけミ小父ちゃんは

「うゝん」

ミ一寸さびしさうなお頭をふりました。

「あゝささうして？」

ミ二人はびつくりしてきゝました。

「だつてね、もうすぐ暖いお日様が出ていらしたり雨こんこが降つたりしたら、小父ちゃん  
はね遠いお國へ行かなきやならないの」

「えつ、さうしてもゆくの? つまんないなあ—」

二人は本當に困りました。だつて折角お友達になつたばかりですのにね。小父ちゃんは「だけさね、また來ますよ」

「えつ、いつ?」

「あのね、もうすぐ春が來てそれから暑い暑い夏が來て、それから一ぺんお正月が來てね、今日みたいに雪こんこが降つて來たら」

さいつて下さいました。それで二人は少し安心しました。

その晩二人がお寢床へ入つてからお外ではポツリ／＼雨こんこが降つて居りました。あくる朝起きたチュウ吉さんミチュウ子さんは、小さなお窓からのぞいて見てびっくり致しました。昨日眞白に積つてゐた雪がすっかり解けてゐるんです。お屋根もお庭も高い木も電線も、そして昨日お友達になつたばかりのあの大きな雪だるまの小父ちゃんも、二人でつくつてあげた小さな雪だるまさんも、みんな／＼なくなつてゐました。

「あゝ分つた」

二人は思はず手を叩きました。そして、

「雪だるまの小父ちゃん、小ちやな雪だるまさんと一緒に涼しお國へ行つちやつたんだよ」  
つて申しました。

すつかり雪がなくなつた木の枝や電線では雀さんたちが楽しさうに遊んで居りました。もうすぐ春さんがやつてくるんでせうね。

おしまひ

## 月刊「幼児の母」に就て

五二

幼稚園の家庭教育指導のはたらきの一助にも、昨年一月、月刊「幼児の母」を始めてから、もう二年になります。毎號甚だ不出來ですが、それでも廣く各地幼稚園の御賛同を得て、月々、保護者へ配つて下さる方が多くなりました。

あんな小さいものですが、従つて内容も簡單至極のもので、毎月一萬數千のお母さんに讀んで貰へると思ふに、大によろこんでゐます。ほんの四頁といふのも、忙しいお母さんの立讀みにもさういふ、初めからの計畫で、手にされる方は皆、讀んで下さることゝ、これが何よりなのです。

就ては、從來の方々は勿論おつゞけ願ひますし、新しい方々にも願ひいたします。尙ほ、今までは毎月「幼児教育」で御覽の上の註文を本體に願つてゐましたが、もう大體お分り下さいましたことゝ思ひますし、月々の御申込みは、皆さんの方にも御手数数の多いことですから、半年分なり一年分なりまとめて御註文下さるやう願ひます。當方でも印刷部数の豫めきまつてゐることが、時節柄必要になりましたのです。それで新しい幼児の入園から新たに御配布の方も多思ひますから、四月を始めとして、四、五、六、七、三四月を一期、九、十、十一、十二、三四月を第二期、一、二、三三ヶ月を第三期としてまとめ

たが御便利かと思ひます。一年拂は十一ヶ月分。

### 申込規程

一、御註文は十部を一單位として、實費を左の通り申受けます。

○十部 金貳拾錢(一部貳錢)

○送料 十部まで三錢 二十以上送料不要

○十部以下の端數はおこしはりします。

一、御註文の節は部數三何ヶ月分といふことゝ御送り致す宛名を特にはつきりお書き記して下さい。

一、右御註文のお申込みと同時に必ず前金でお拂込み下さい。本會の拂替口座(東京一七二六六番)をお用ひ

下さるのが御便利です。

一、お申込みお拂ひ込みは、東京市小石川區大塚町東京

女子高等師範學校附屬幼稚園内、日本幼稚園協會宛。

序に甚だ立入つたことゝのやうですが、御利用の仕組は

(一)幼稚園が保護者に無料で配布される場合、(二)實費を保護者銘々の負擔をなさる場合、(三)幼稚園内の保護者會

或は母の會等が費用の負擔をなさる場合等、その他いろ

いろの仕組があらうと思ひます。

充分御利用下さい。

# 幼児の 母



昭和十六年  
四月

## 入園と親心

毎年の幼稚園入園に嬉しく想はれることはいろ／＼です。子ども達の喜び。先牛方の喜び。その喜びの幼稚園が、子どもの将来にまで及ぼす効果。しかも、かうした想ひの中にも、一番強く想はずにゐられないことは、我子を幼稚園に入れる親御さん方の親心です。

幼稚園は、今日義務教育になつてはあません。その必要は義務制にしたい迄に識者によつて考へられてはありますが、今はまだ、國民學校の入學のやうに國から命じられてゐることはありません。す

なはち、全く、わが子の爲によかれかしと念じ、いゝことは皆してやらうとする、周到な親心一つによつて行はれてゐることです。幼稚園の價値が如何に強く論じられ、又理窟の上でよく理解せられたにしても、この熱心な親心なしには、一人の子ども、幼稚園へは來させられないのです。國民學校入學の朝にも、かうした親心は充分感じられるのですが、幼稚園の入園では、却てそれ以上なものを感じられると言つていゝかも知れません。入園の子に、げにしみ／＼と想はれる親心かな、です。

× × × × × × × ×

## 幼稚園から

○御入園おめでたうございます。これから長い御懇意をいただきますのです。いろんなことを念いで申上げずともですが、今私達の心に強く二つのことがあります。お子さんと早くお親しくなりたいこと。お母さまと早くお親しくなりたいことです。○お子さんと親しくなれる爲には、早くお子さんを幼稚園へ獨り離して下さい。少し位お淋しさうでも、それでこそ私と仲よしにもおなりでせうから。○お母さまと御懇意になります爲には、送り迎への序に、一言でもお話の出来るやうにして下さい。御挨拶なんかして頂かうとするではありません。お子さんのことに就て、御遠慮のない御希望なり打ちあげたお話なり、私はつい忙しいのですから、どうぞ話しかけて下さるやうに願ひます。○お子さんは離れて、私には近くと、勝手に御座いますわね。

母の  
講座

## わが子を良い子に

四 人といつしよに樂める子

倉橋 惣 三

人といつしよに樂めるといふことは、  
なんといふ不幸なことでせう。それが出来  
たから聖人で、それが出来ないから惡人  
だといふ譯ではありませんが、すなはち  
特に道徳的にどうかうといふことでもな  
いでせうが、先づ以て自分として仕合せ  
な性質です。一體、良い子といふのが、  
さうむづかしい道徳上のねうちをいふこ  
とでなく、良い子であることは、その子  
として、眞に幸福に生きられることなの  
です。他にどんな道徳的善良さをもつて  
ゐても、人と共に楽しむことの出来ない  
のでは、幸福といへますまい。私達は、  
子どもに、さういふ幸福を充分もたせて  
やりたいではありませんか。況してや、  
それは、考へて見ると、たと自分として  
幸福なばかりでなく、必ず他人をも幸福

にしてゐるに相違ありません。人と共に  
なり得ないやうな傾向の子と共に樂しむ  
といふことは、甚だ出来にくいことです。  
その人がゐる爲に、何といふことなく、  
幸福でなくなつて來ます。その反對に、  
人と共になることを樂しめる人の傍では  
こつちもおのづと、人と共にゐるを樂し  
む心になれます。即ち、人と共に樂める  
といふことは、自分が幸福なばかりでな  
く、人をも幸福にするものです。そこに、  
自分でも識らずに、大層な良いことをし  
てゐる譯です。さういふ意味では、道徳  
的だともいへませう。  
ところで、人と共に樂しめるといふこ  
とは、幼い子どもとして、極めて自然な  
ことで、その方が常である筈ですが、必  
ずしも、さうでないこともありませう。そ

手製  
榮養 お八つ

厚生科學研究所  
國民榮養部

佐々木 理喜子

幼稚園も學校も新しい元氣な御子さん  
を迎へてニコ／＼してゐます。御家へ歸  
ると、お母様が美味しい榮養のあるお八  
つを作つて待つていらつしやいます。み  
んな揃つてよく勉強をしませう。

(1) きぬかつぎのお團子

材料 きぬかつぎ八〇瓦、赤味噌一〇瓦、  
メリケン粉一〇瓦、砂糖六瓦、竹串、  
以上で一六〇カロリ

作り方 きぬかつぎをよく洗つて蒸し、  
皮を取り、一個を二つ位に切りませう。竹  
串に程よく刺します。メリケン粉を少量  
の水で溶して糊を作り、赤味噌を搗つた  
中へ加へませう。砂糖で味を調へ、味噌餡  
を作ります。竹串のお芋によく塗り、一  
寸と火であぶります。

(2) くづもち代り

材料 きぬかつぎ四五瓦、人參五瓦、寒

れに三つの場合があつて、一つは、元來が孤獨的な性質とか、變屈な性質とか、いはゞ、生れつきの心理的原因によるものです。但し、かういふことは普通にはない例外で、それ程極端な場合はめつたにないのですが、多少さういふ傾向といふ場合は、まゝあることも知れませんが。

第二は、身體の健康状態から、さういふ傾向になつてゐる場合で、生理的原因によるものです。全體に衰弱してゐるとか、消化系統に故障があるとか、その他、健康的に氣が冴え／＼しないと、自然人といつしよが、少くとも進んで樂しき得なくなりませう。第三は、生れつきとか、健康とかでなく、全く境遇なり、育てられ方なりから、人と共に樂しめない場合です。元來、人と共に樂しめるとは、人と共にといふ點が根本なのでして、つまり、自分を人と對等に置き、人を自分と對等に置くことの出来る時に、始めてもてる樂しみです。それが、境遇や、育てられ方によつて、自分が上に立つ癖がついたり、我まゝ勝手を通す癖がついたり、殊

に人に負けて貰ふ癖がついたりしてゐますと、なか／＼對等を樂しめないのです。又、その反對に、始終、人に抑へられ、いぢめられたりしてゐると、それが性になつて、いぢけたりします。又、これらのどつちでもなくて、たゞ、人と對等の生活訓練が出来てゐない爲に、さういふ性質が發達しないのである場合もありませう。ひとり子が、この點でよく問題になつたりします。

そこで、人と共に樂しめない傾向のある子には、その原因を考へて、そこから矯正してゆくことが必要です。しかし如何に矯正法を研究しても、人と共に居ること、そのことの練習が與へられなくては、決していゝ結果は得られませぬ。又さういふ心配のない子でも、人と共にあさせられることによつて、益々その傾向を修練させられてゆくでせう。それを實際的にいへば、同い年の對等な友達の中で遊ぶことで、友達の大切さがここにあります。そして、幼稚園は毎日、その幸福と修練とを與へてゐる譯です。

天<sup>1</sup>/<sub>2</sub>本、黄粉五瓦、砂糖六瓦、以上で九三カコロ

作り方 之れは、かさばりますからカコロ<sup>1</sup>/<sub>2</sub>を少くしました。きぬかつぎを蒸し、皮を取り程よく小さく切ります。人參は花形に切り軟く煮ます。寒天を溶して煮つめ、流し箱に入れお芋と人參を入れて固めます。砂糖を少量のお湯で溶して少し煮詰めます。流し箱から出して適當に切り、小皿に盛り、砂糖蜜と黄粉を上にかけます。

(3)フルーツポンチ

材料 白玉粉二五瓦、林檎五〇瓦(約<sup>1</sup>/<sub>3</sub>個)、みかん五〇瓦(約<sup>1</sup>/<sub>2</sub>個)、砂糖六瓦、以上で一五二カコロ

作り方 白玉團子を少し小さ目に作ります。林檎は皮を取つて養目に、みかんは身をほぐし以上をガラス皿に盛り、上から砂糖蜜をかけます。

\* \* \* \* \*

\* \* \* \* \*

## 入園初めの一ト月

初めの一ト月。お子さんにとつては、全くの新経験ですからね。相當氣づかれもありませうさ。今までの我家と違つて、見ず知らずの人間ばかり。先生は、そりやお観音さまのやうに優しいし、友達は小天使の群のやうに可愛らしいが、それだつて、うちのお母さまや、きやうだいのやうな譯にはいかない。さあ、皆さんといふ、先生のお聲は嬉しいが、その皆さんといふのは、自分ひとりのことではないらしい。こゝへ来て初めて聞く日本語である。小天使群は、どれも自分と同じやうな顔をしてゐて、頗る組し易いと思つたが、二日三日と、なれて来るに従つて、いづれも一癖ある連中で、自分の思ふ通りにはなつて呉れず。之れ亦、こゝに来て初めて出合った日本人達である。……といつた譯で、何だかわや

わやど、我家とは違つた味の濃い世界に取圍まれて、面白ければ面白いなりに、引きつけられ、ば引きつけられるなりに、何んといつても、氣の張ることです。幼稚園の方では、そこを充分の上にも充分に察して、出来るだけ自然に、出来るだけあつさりにと、保姆さんは、それで却つて骨が折れる位にしてゐるのですが、それだつて、すぐ、すつかり幼稚園の子になり切れないところがあつても、無理はありません。

ですから、泣いたつていゝのです。口をきかなくても、遊戯にはいらなくても、少々位あはれてもいゝのです。時には、目からはばかりでなく、下の方から水をもらしたつて構はないのです。そんなことに驚く幼稚園じやありません。たゞ、家庭の方で、どうかすると餘計なお氣がねをなさて、幼稚園に行つたら、やれ泣くな、やれおとなしくしろ、やれ早速良い子になれど、朝出る時厳命し、歸ると今日はどうだつた、訊問し、折角くの幼

稚園を、きゆうくつなものにして仕舞つたりされます。それで、どうかすると、幼稚園はいやだなんて思はせたりするのです。又、あんなことじや、幼稚園の先生、何をしてゐるのかと、不信任を投げつけたりせられるのですが、まあ、どうぞ、そんなにあせらないで、平氣であつて下さい。そして、坊や、さぞお疲れだらうねなんて言はなくていゝのですが、朝は、幼稚園の面白いことを話して楽しく送り出す。歸つては、その日のことなんか一問ひつめたりしないで、好きなおやつをいつしよにたべて、話し出したら聞いてやる位にする、さうして、榮養と睡眠とに、一段の注意をして、内の方から疲勞の恢復を補つてやる。萬端さういつた調子でやつて頂きたいのです。子どもさんによつては、初めから、こんな心づかひのいらぬのもありますし、あつたつて、なかに、初めの間だけのことです。

× × × × × ×

日本幼稚園協會編輯 幼兒の教育

會長 東京女子高等師範學校長 下村 壽一  
 主幹 東京女子高等師範學校教授 倉橋 惣三  
 附屬幼稚園主事 倉橋 惣三

日本幼稚園協會規則

- 第一條 本會ハ幼兒教育ノ改良發達ヲ圖ルヲ以テ目的トス
- 第二條 本會ハ日本幼稚園協會ト稱ス
- 第三條 會員タラントスルモノハ幼稚園ニ關係アルモノ又ハ幼兒教育ニ篤志ナルモノトス
- 第四條 會員ハ會費トシテ一ヶ月金參拾五錢ヲ齎出スヘシ、會員ハ無料ニテ本會發行雜誌ノ配布ヲ受ケ又本會ノ事業ニ關シ諸種ノ便宜ヲ受ケ
- 第五條 令聞名望アル人ニシテ本會ノ事業ニ裨益アリト認ムルトキハ特ニ請ヒテ客員トナスコトアルヘシ
- 第六條 幼稚園ニ關係アルモノニシテ本會ノ事業ノ爲ニ特ニ盡力ヲ與ヘラル、モノニ請ヒテ地方委員トナスコトアルヘシ
- 第七條 本會ハ毎年一回總會ヲ開ク。但場合ニヨリ臨時休會スルコトヲ得
- 第八條 本會ハ左ノ事業ヲ行フ
  - 一、幼兒教育ニ關スル研究及ヒ調査
  - 一、幼兒教育ニ關スル講演會及ヒ講習會ノ開催

- 會ノ開催
  - 一、雜誌發行(毎月一回)
  - 一、幼兒教育ニ關スル圖書刊行
  - 一、保姆就職及招聘ニ關スル仲介
  - 一、其他本會ノ目的ニ裨益アリト認メタル事件
- 第九條 本會ニ左ノ役員ヲ置ク
  - 會長 一名 會務ヲ總理ス
  - 主幹 一名 會長ヲ補佐シテ會務ヲ掌理ス
  - 幹事 若干名 會長ノ指揮ヲ受ケ會務ヲ分掌ス
  - 評議員 若干名 重要ナル事件ニ關シ會長ハ必要ニ應ジ特ニ委員ヲ選ク又ハ書記ヲ雇入ル、コトアルヘシ
  - 第十條 會長ハ客員中ヨリ推薦スルモノトス
  - 第十一條 主幹 幹事 評議員ハ二ヶ年ヲ期シテ會長ヨリ推舉スルモノトス
  - 第十二條 本會ハ必要ニ應ジ特ニ委員ヲ設ケ又ハ書記ヲ雇入ル、コトアルヘシ
  - 第十三條 本規則ハ總會出席會員ノ三分ノ二以上ノ同意ヲ得ルニアラサレハ變更スルコトヲ得ス

定價

一ヶ月分	金參拾五錢	特等面一頁二等面一頁
半ヶ年分	金貳圓拾錢	金貳拾圓金拾圓
一冊	金貳圓拾錢	一等面一頁一頁以下
六冊	金四圓拾錢	金拾五圓御斷り
拾貳冊	金四圓拾錢	神田區駿河臺ノ三品田
拾貳冊	送金	廣告社に御申込下さい

（外國行郵税は一部金拾貳錢の割にて御拂込下さい）  
 昭和十六年三月二十八日印刷納本  
 昭和十六年四月一日發行  
 幼兒の教育 第四十一卷 第四號

不許複製 轉載

編輯 倉橋 惣三  
 發行所 東京市本郷區駒込林町百七十二番地  
 印刷者 柴山 則常  
 印刷所 東京市本郷區駒込林町百七十二番地  
 會社 杏林 舍

發行所

日本幼稚園協會  
 振替口座東京一七二六六番

注文規定

一、本誌御注文の方は凡て前金(郵税共)で願ひます(郵券代用の場合には増(割増)を御送金の場合にはなるべく振替貯金で振替口座東京一七二六六番日本幼稚園協會宛に願ひます  
 一、送金の節には第何巻第何月號より第何月號迄と明記せられたし  
 一、本誌の代金に對しては別に領收證を差出しません。特に御入用の方は往復はがきで御申越え願ひます  
 一、會費切又は前金切の際にはその最終發送の雜誌の帯封に「前金切」の印章を押捺いたしますから其節は早速御送金を願ひます  
 一、本誌の見本御入用の場合には前金參拾五錢發送を願ひます



